

譜木之卷

聞書
左

和装本

ケ 5

44

143





大坪本流 簗木之巻 左

庭乗昔地精ヲ乗ル也左ニ返右ニ返ナリ小笠原流内
藤流ニテハ右四返右ニ返ナリ一返乗ル時ハ唇ルナリ又
ハ條流ニテハ初ヲ右エ返ス當流ニテハ何時モ初ヲ左エ返ス
ト知ルヘシロ傳

此書簗木ノ巻トハ庭乗ノ書ト云シ義理ニテカク号タル
也庭ヲ清メルニハ簗ヲ以テシ客ヲ賞觀スルニハ
水簗ヲ以テ庭ヲ清ルル第一地精ヲ乗テ也又簗目ヲ
付テ馬ノ足ノ形ヲ見セル様ニスル也

四本掛四季ノ庭ニテハ當木ヲ外ニシテ乗ヘシ春ハ櫻ヲ残シ
夏ハ柳ヲ外シ秋ハ楓ヲ残シ冬ハ松ヲ外シテ乗ト知ルヘシ
然トモ春ニテモ花箱ニナク雪モ枝ニ残タラハ松櫻ヲ外ニシテ
冬春ハ兼テ乗ヘシ夏モ残シノ花アラハ櫻柳ヲ残シテ吉

秋之庭冬ノ庭モ右心得可也亦土用之庭トテ四季境ヲ乘
下アリ其時ハ四ツノ木ヲ乘廻シテ皆掛ノ庭シ乗レロ傳
是四本掛ハ鞠ノ庭也櫻柳如以四季ノ木ヲ植也上古時
因増長ノ坪殿ト云テ有是シ大舍人曰タル下也是
四本懸ノ庭也馬場ノ本ナリ別以四季ノ庭坪殿ト云也
○昔黃帝出龍ヲ伐玉ハントスレト雖尤ハ大王ニテ戰ノ
功ナル人ニテ殊ニ其國境大何有テ難責時ニ黃帝ノ臣
クハテキ舟ヲ作り示董仲仙原山ノ馬ノ下シ諾テ其馬ヲ
取テ戰馬ニ用テ勝利シ得タリ出カノ首ヲ取テ跡ノ
鞞ニ付帰ル其後三日用眼不死黃帝ノ白頭ヲ以逆シ
伐何ッ不死亭子シ恨哉トノ玉ノ首ヲ蹴王ク依之終ニ
眼閉死ス其首ヲ蹴王ノヨリ鞠ヲ蹴下始ハ馬ヲ戰ノ功
依テ之故ニ上古以庭ヲ用古クテ注ニ黃帝習兵之勢一

列向カ別録ニ蹴鞠ハ黃帝所造ル以練武士ニ○日本鞠
始ハ用明天皇ノ御宇大唐ヨリ傳ルト○顯昭神中抄十六
十節録黃帝取蚩尤頭髓之今髓杖是也以彼例
漢十二年始用件ノ支國中無凶莫仍日本國學其
例○蹴鞠髓甲陽軍ニ古来ハ管掛ハ的ホノ一賞既
客ニ常ニ有シ下也急ナル時ハ掛リシ乗シ也

春ハ櫻春ノ花ニシテ初ノ花也又春ニテハ櫻ハ何トナク西行夏ハ柳夏ノ花
水流ルハ新影水ノ流ルハ新影ト云フ秋ハ楓秋ノ花ニシテ葉ノコラカモイナシト云フ冬ハ松冬ノ花ニシテ葉ノコラカモイナシト云フ
トテコリ立トテウツレトテコリ立トテウツレト云フ春ハ東ニ位擲ハ持國天司ル春ハ東ニ位擲ハ持國天司ル夏ハ南ニ位柳ハ
千代ノ色ト云レ千代ノ色ト云レト云フ增長天司ル秋ハ西位柳ハ厚子日天司冬ハ北方位柳ハ多門天
主ルト云ハ是四大天王ヲ表スルト云ハ
四季ノ内當木シ外レテ乘ハ賞既スルノ古實也春
季ニ至レト櫻モ未花咲ス冬ノ雪掛ニ残リアル時ハ

ニホシ賞院ノ心ナリ夏秋モ以心得ナリ土用之庭ト
テ四季ハ掛ニ乗テハ土用ハ四季ニ中應シテ春ノ土
用之庭トテ四季ハ掛ニ乗テハ土用ハ四季ニ中應シ
テ春ノ土用夏ノ土用秋ノ土用冬ノ土用アリテ四季ニ
中應シテ春ノ土用夏ノ土用秋ノ土用冬ノ土用アリテ
四年ニカハル也故ニ皆掛ル庭ヲ乗ナリ四季ノ境春ノ
夏ニ至ルニ冬ノ雪強レノ心アラハ心持四季トモニ有
先賞院ノ気ノ色アル捕モナク四季土用モ近クハ定法
ノ乗様勿論ナリ

キワサシノ庭トハ四季ノ木植テナキ庭ニ四季ノ木ヲ
切テ指置根ヲ堅ムルナリ急ナル時ノ庭ナリ
素袍長袴ヲ着シテ乗トキハ素袍ノ袖ヲ肩ニテ括
リ後シトキタルカヨシ袴腰ヨリヌケサル為ナリ長

袴ヲ扱ナリテ乗靴ニ居リテ解也左ノ相引ノ所ニ手ヲ
入テ上ハ引上亦右ノ方モ同断ナリ右常ノ手煙取様
ノ如ク露ト一度ニスルナリ下ル時ハ袴ヲツマニ上ニテ
前扱ニハサムナリ

掛ノモノキ所ニテ雪ノ朝ノ庭乗テ一段秘夏アリ緞ハ三度
乗廻スニ三度乗タル跡ノ見ルヤウニ乗ヘシ又雪見ナ
トノ庭ニテ馬打廻セトアラハ唯一度ニテ置ヘシ雪ヲ
賞院ノ心也三度乗廻スニ跡ノ見ルヤウニ乗ハ雪露
シ残ス心得ナリ其外種々心得多キナリ亦雪ノ
朝之庭四本掛リナトシ乗トモ主人高人軒近ク御
座在所ニテハ御扱ナトハ雪ノアカラサルヤウニ気^遠達
在テ乗ヘシ掛リニモ雨降之庭忽降時ハ向ノ掛リ
ニテ遠ク乗ヘシ流泥ナリ御扱ハマカリテ貴人ナ

トヘカイルフアルユヘ右ノ如ク乗ト知レシ

掛リモナキ所三ノ雪見ナトノ折節 雪ノ庭ヲ乗フハ
別ラ秘フナリニ返乗廻スニ其乗タル跡ノ見エルヤクニ
初乗タル跡ヲ同シヤウニ乗ヘシ足跡遠ヘ見若シキニ
掛ト同シ心ナレ凡雪ナト乗テラレ御座近ク雪露
トハシタラシト以ノ外ノ古又ナリ軒處々ト乗心得アル
ヘシ惣シテ雪ノ庭三ノ馬廻レ妻ヲノ内ナトヘ牽入ル
凡心ナク雪踏ナラサハ心得アルヘシ雪賞既ナレハ掛リ
ノ花ト同意ト知レシ

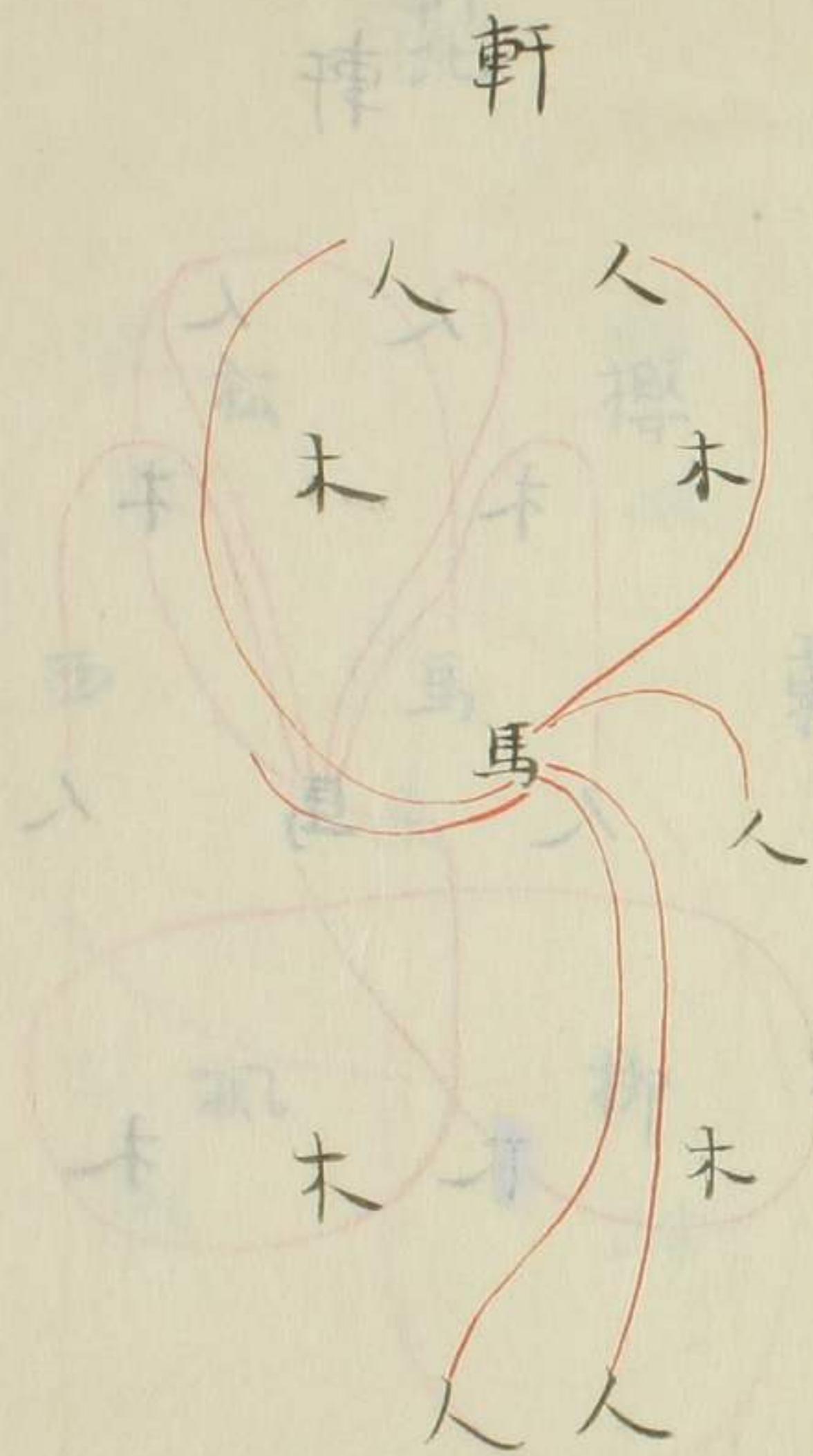
雪ノ朝ハ管仲カ古實 義経 雷ノ戰ニ大雪道ヲ埋ル時ニハツフ
小太郎清重又カ策テ教申ハ加藤ノ節ハ老タル馬道ヲ知
ト云リ判官若輩者ノ言管仲カ古實ヲ感レモ老馬ヲ学
道ヲ得玉フ

古昔ハ天子將軍家モ雪ノ朝ニ雪見ノ庭馬ニ召サレシマリハ御
殿上人ナト馬車ニテ雪ノ庭ナト常ノフナリ

掛ノ内ハ策ハ惣而指ス者也皆脱ノ際ニ病思置紙ト一ツニ置シ
掛リノ庭乗トキハ策指ヌモ也賞脱ノ技ニ策ノサハルトモ
ヤ雪ノ庭ニテモ同シ心得アルニ精ノ雪ノ落カニリタラ
シハ不真ニコソアラメ 此時ノ策ハチカウナリ或指ニ説タリ掛不乗
内ハ策持出ルナリ乗時希脱キ其上ニラクニ
上京常不乗常モ策持タルフナリ
策不持者ハソウ敷下部ナトコソニタル也

掛リノ方角ヲ知ル古又先松ハ成多ノ高ニ位ニテ冬ホナシ主ル
也 西北 柳サハ世廣ノ方ニ植リテ春季ヲ主ル 東北 辰巳ノ隅ニ
位シテ夏季ヲ主ル 東南 机ハ未申ノ方ニ植リテ秋季ヲ主ル也 西南

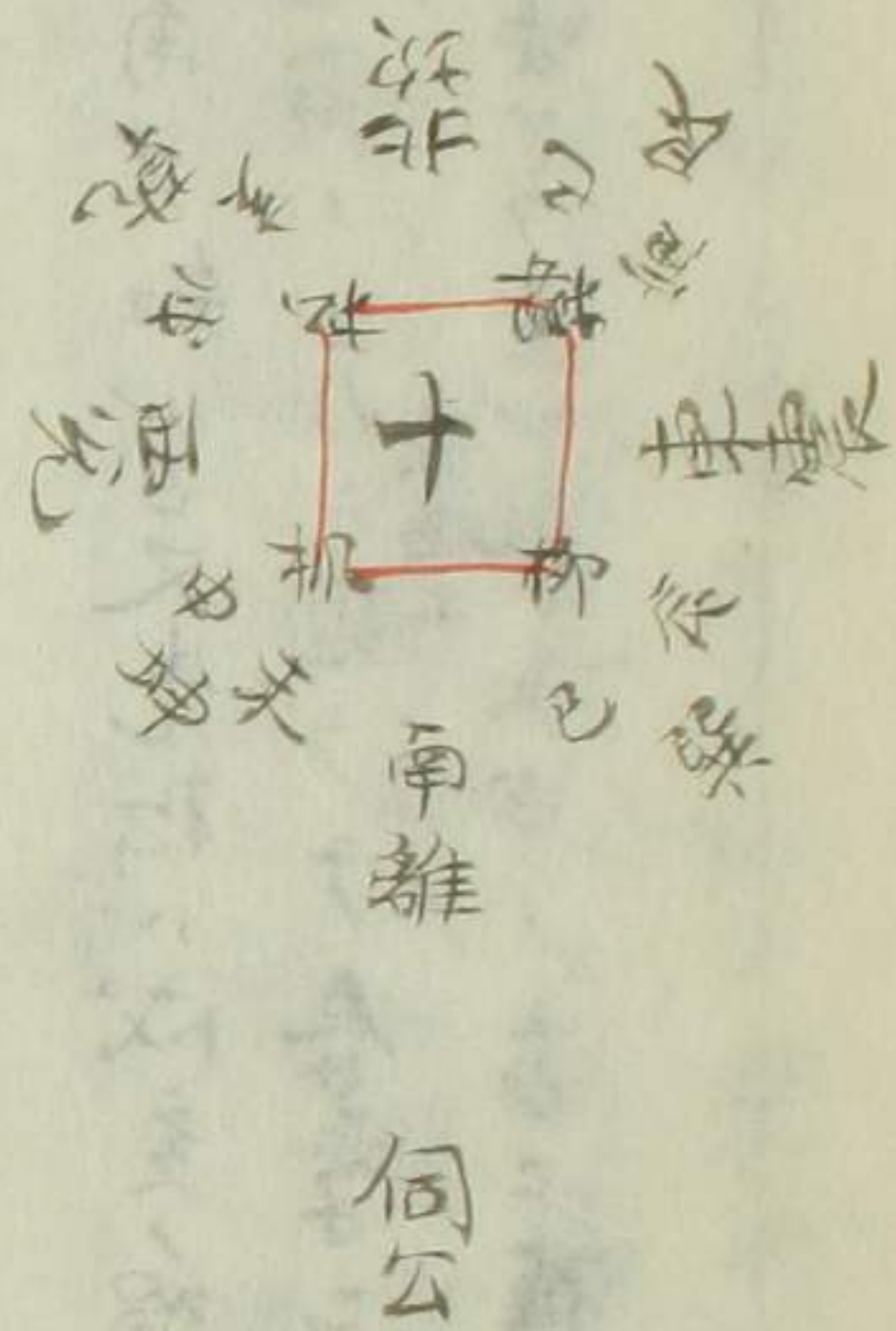
右ノ如ク掛ニテハ馬ニ付者也口傳



伺公之庭

右ノ如ク掛ニテハ馬ニ付者也口傳

軒南西



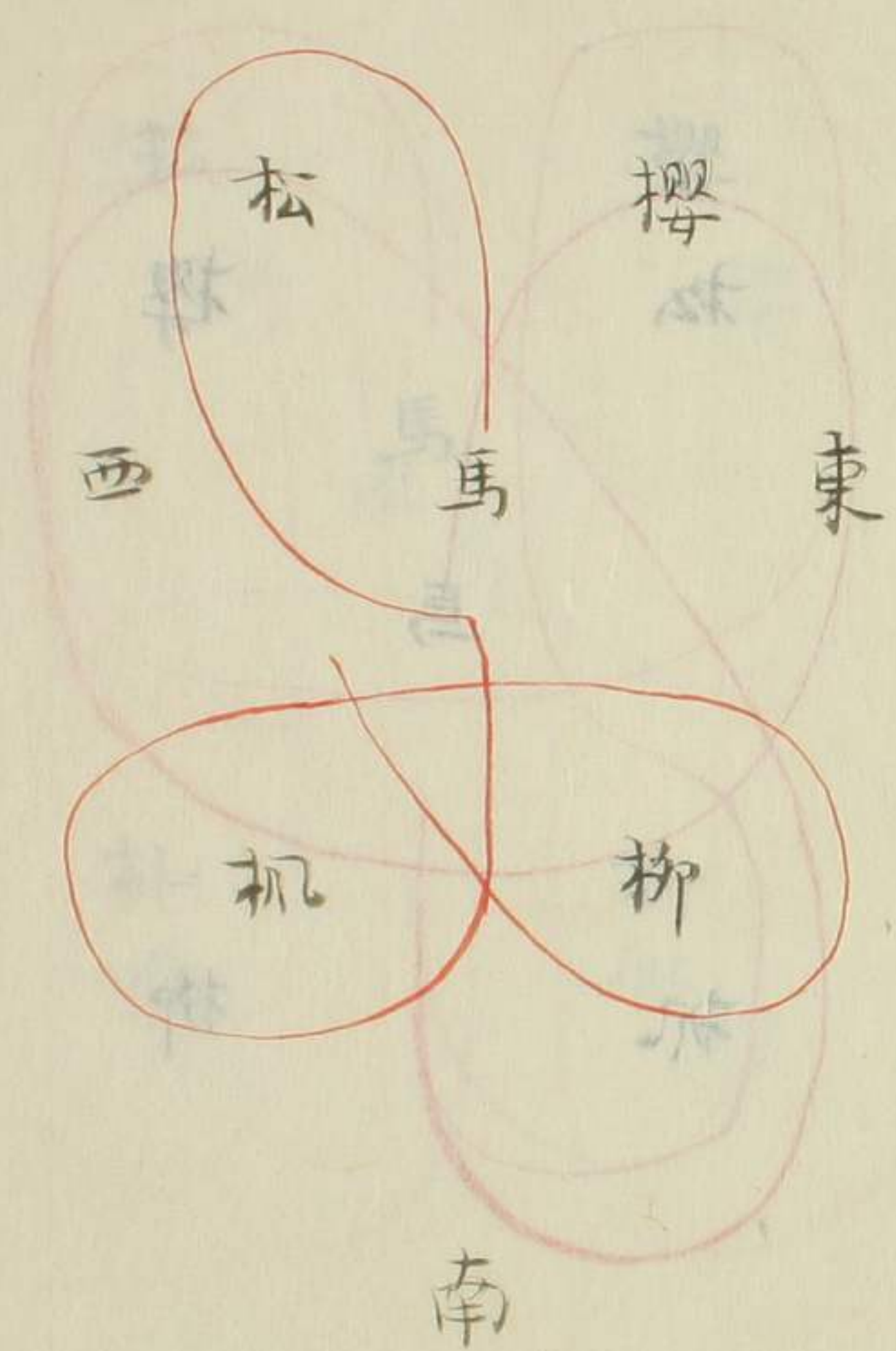
○沓脱ハ掛リノ脇ニ此方ニ付シ其所ニ沓脱テ行ナリ當時ニ燕礼ニ
 ○立致ハ沓脱ヨリ遙前ニモルヘシ式拾ニ出タリ
 ○篲目ハ軒取ニ付ル者ナリ

沓又キハ掛リノ脇ノ方ニ付ナリ立致ハ遠クモルヘシ立致ノ心得アル
 ハレニ立致シ踏ナラス一掃フ一掃ナレハ庭ノ様子ニヨリテ
 心得ヘシ篲目ハ中ヨリ四方ヘツケルモノナリ

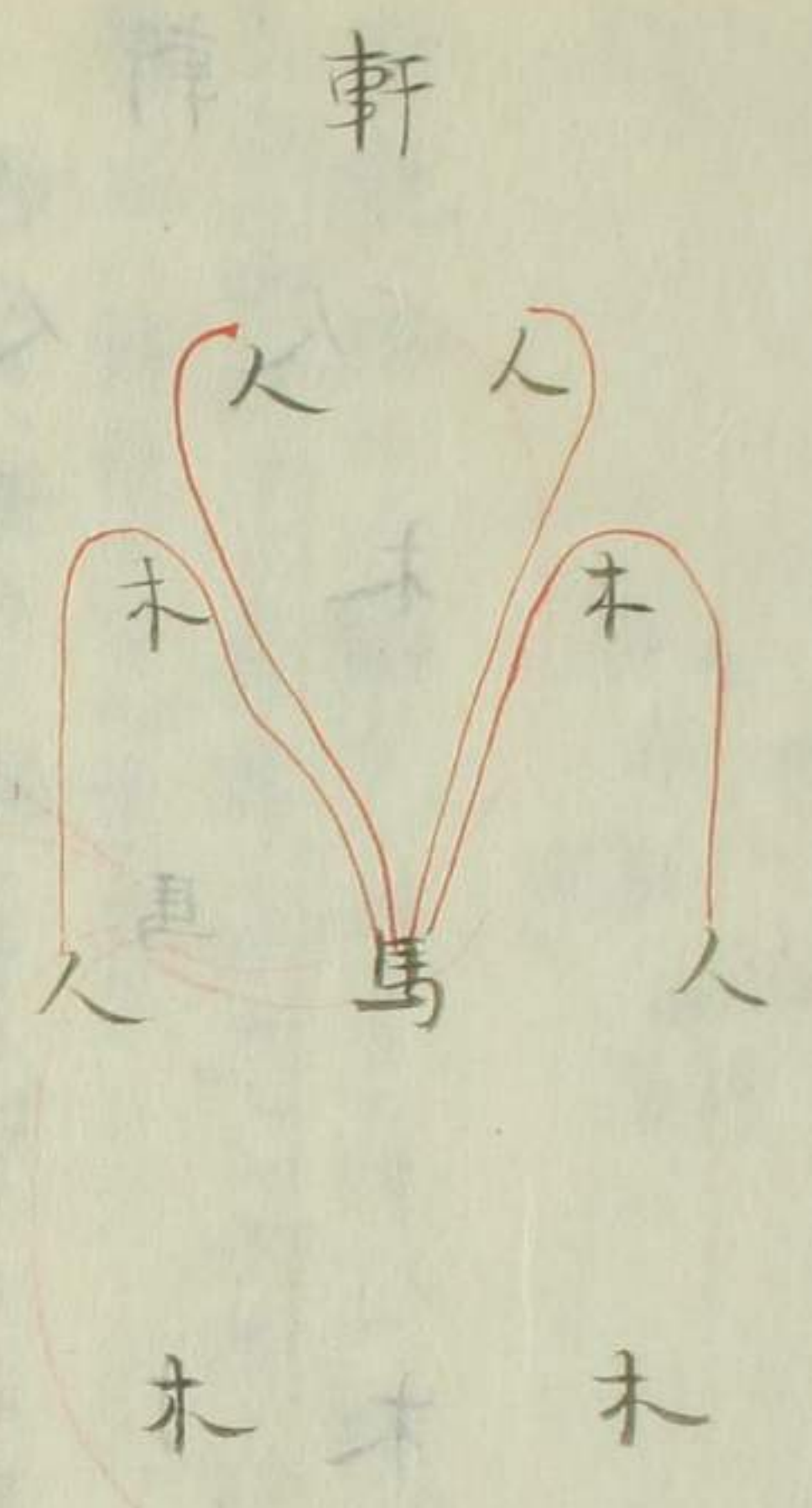
篲目如以

...

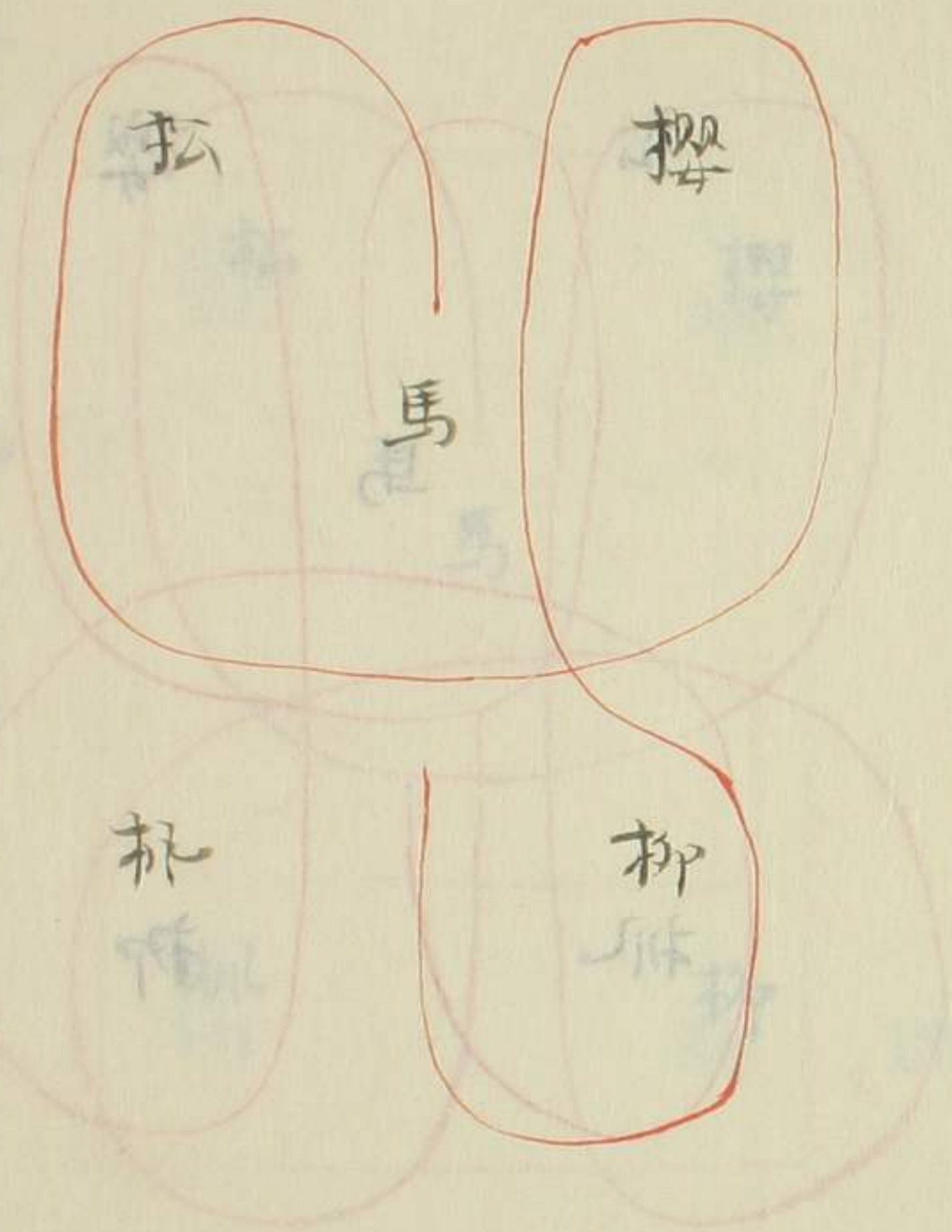
軒北



右ノ如ク馬ニ付テハ大キニ嫌フナリ口傳

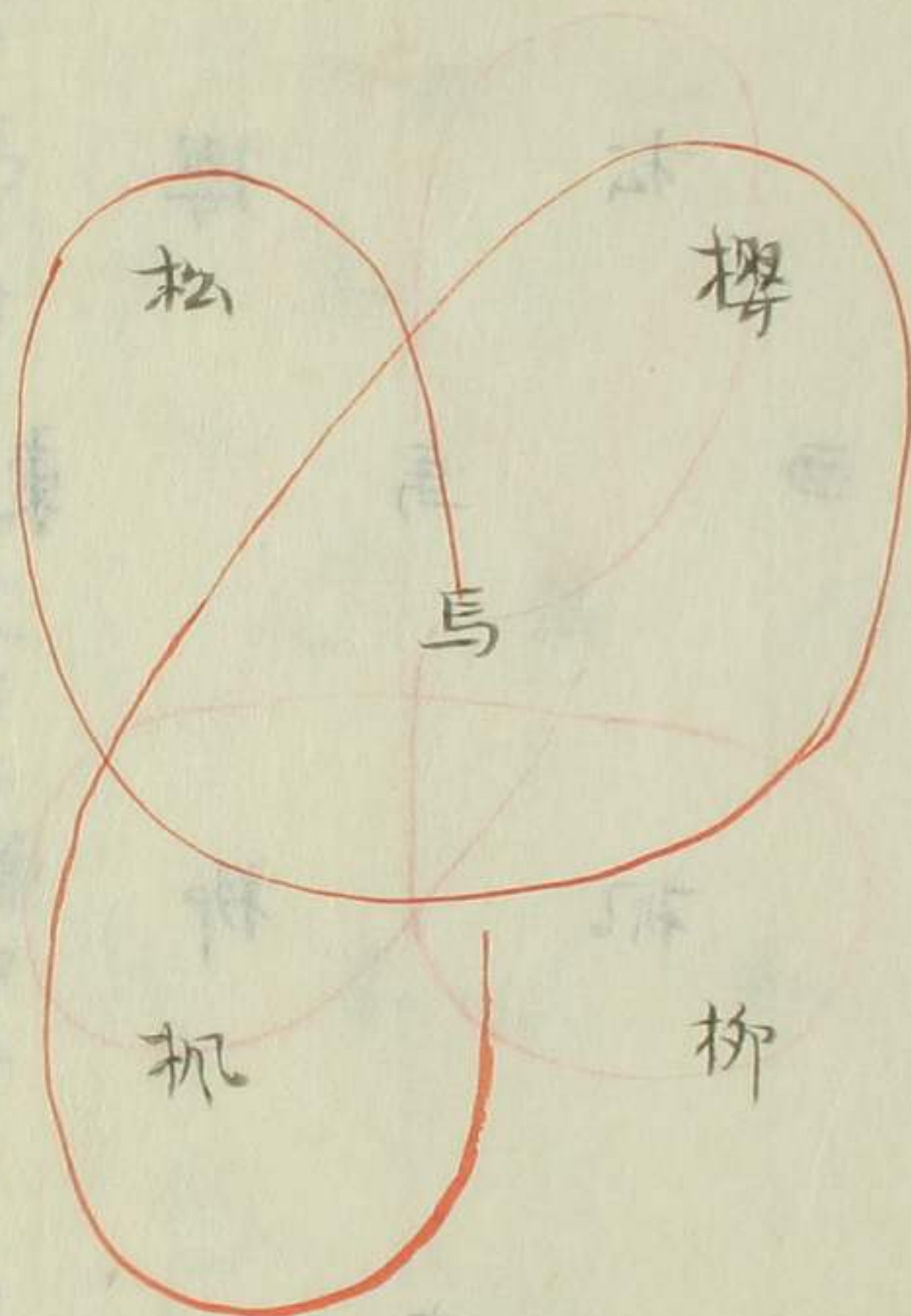


軒



秋之庭

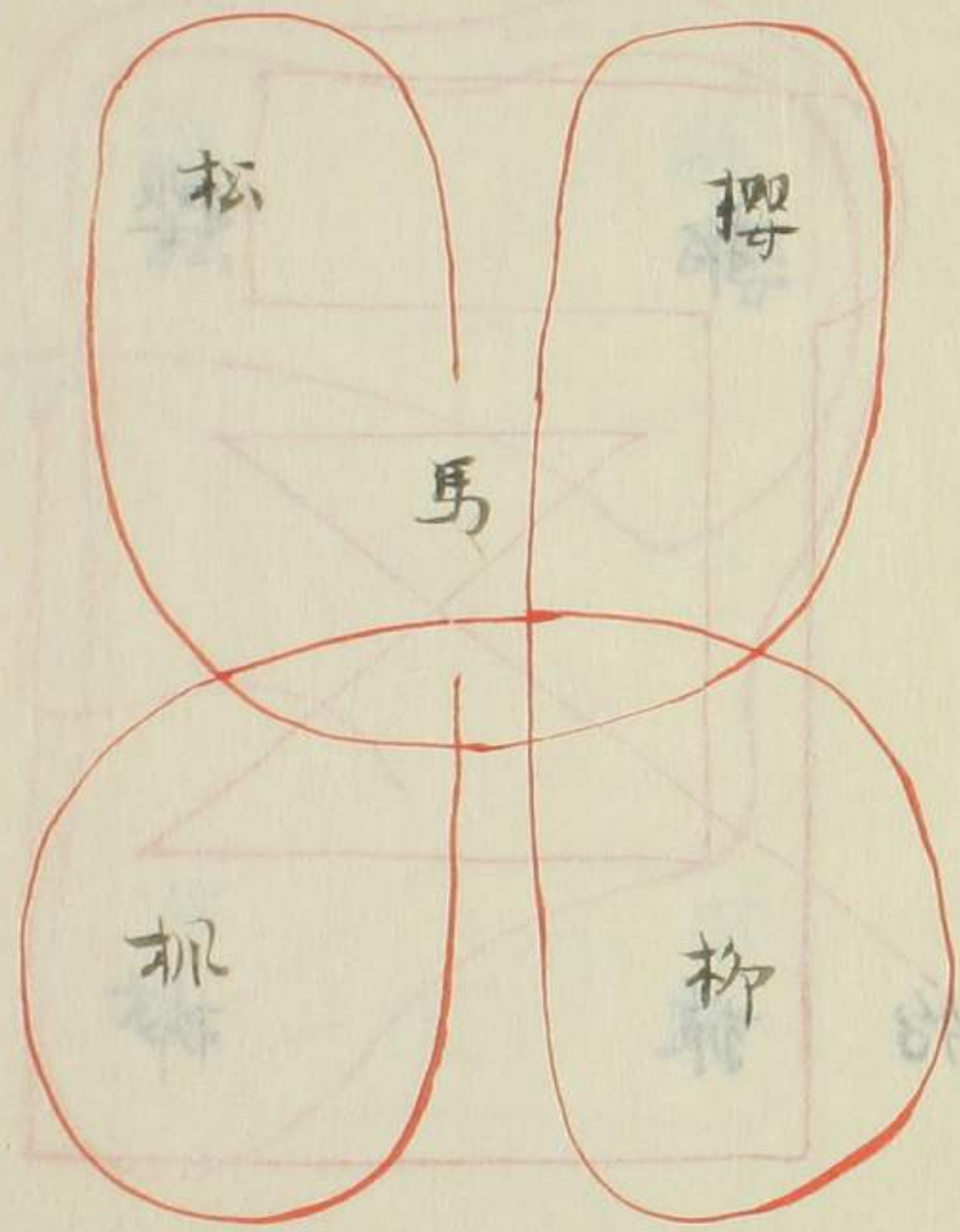
軒



夏之庭

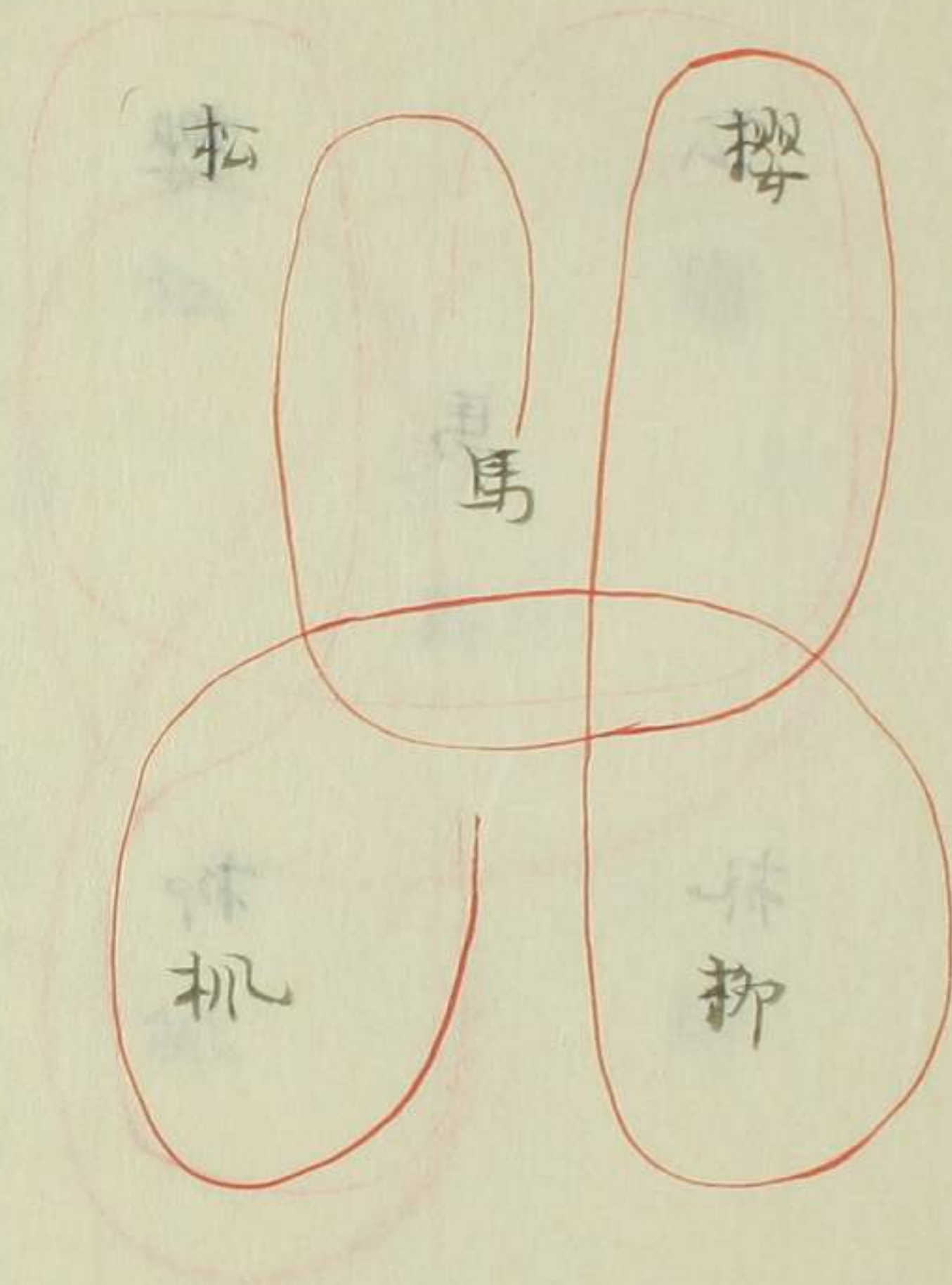
皆懸之庭者四季ノ境ニ乗ル也キウカシノ庭同前也口傳
 加指ノ庭ハ掛リ無キ庭ニテ竹笠ノ時四ツノ木ヲ切テ平庭ニ指テ掛ノ加クナシ
 テヨリ地ヲカケメルナリ木向ノ間敷四ノ方ナリ以トキハ先埃皆
 懸之庭ヲ乗フナリ其後又舊月シ直テアラタメ乗フ也

軒



皆懸之庭

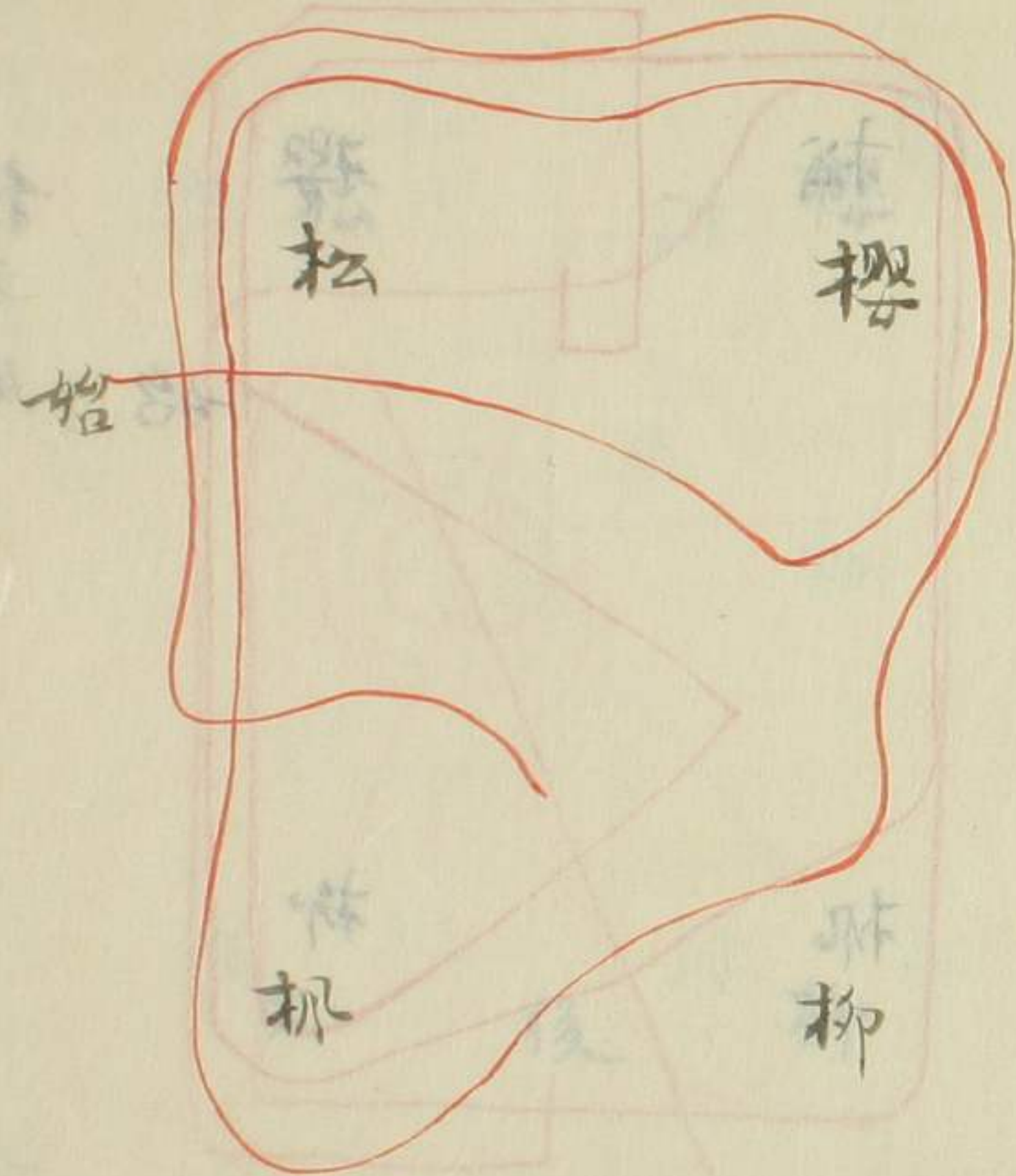
軒



父之庭

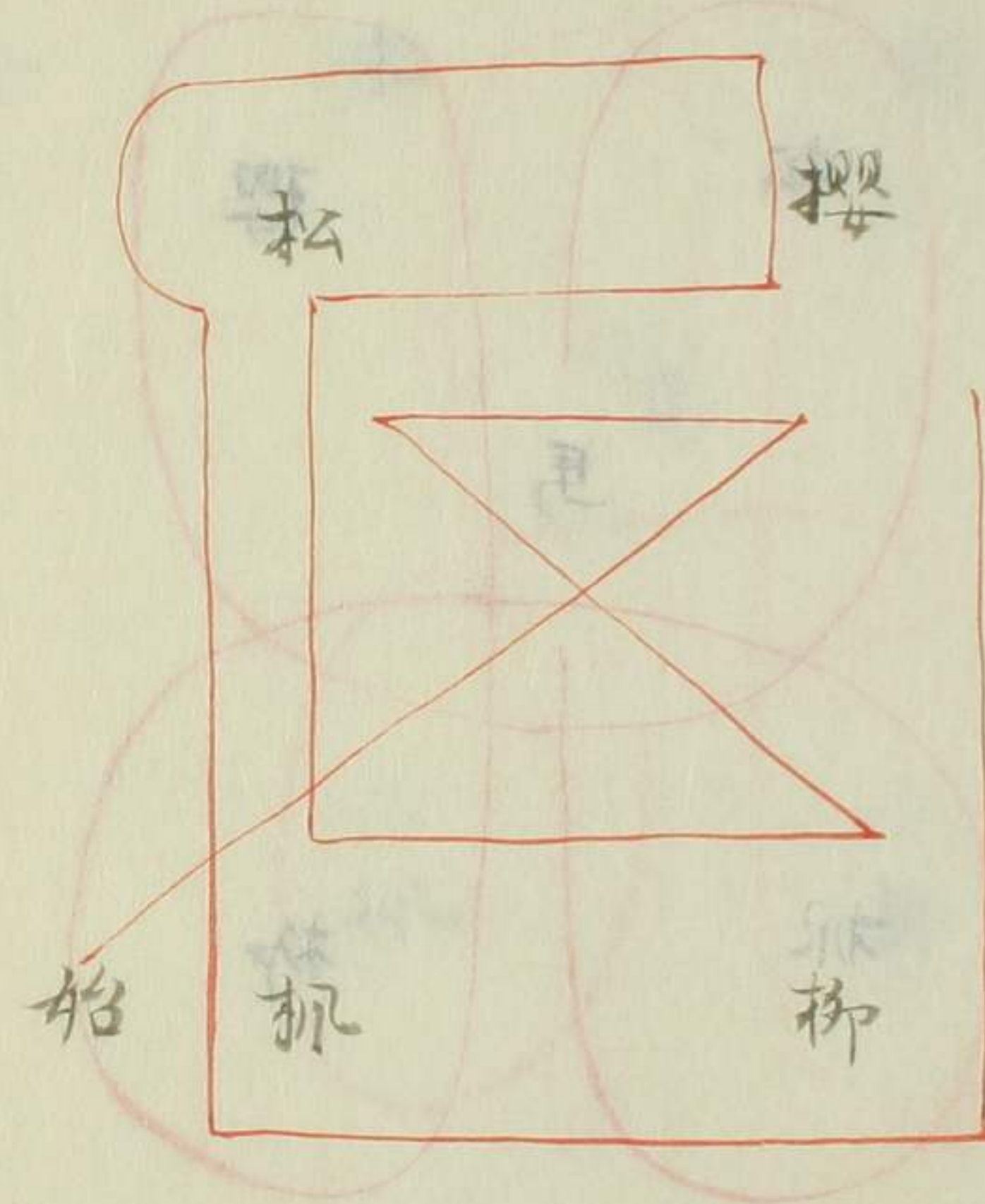
外之庭

軒



夏之庭

軒

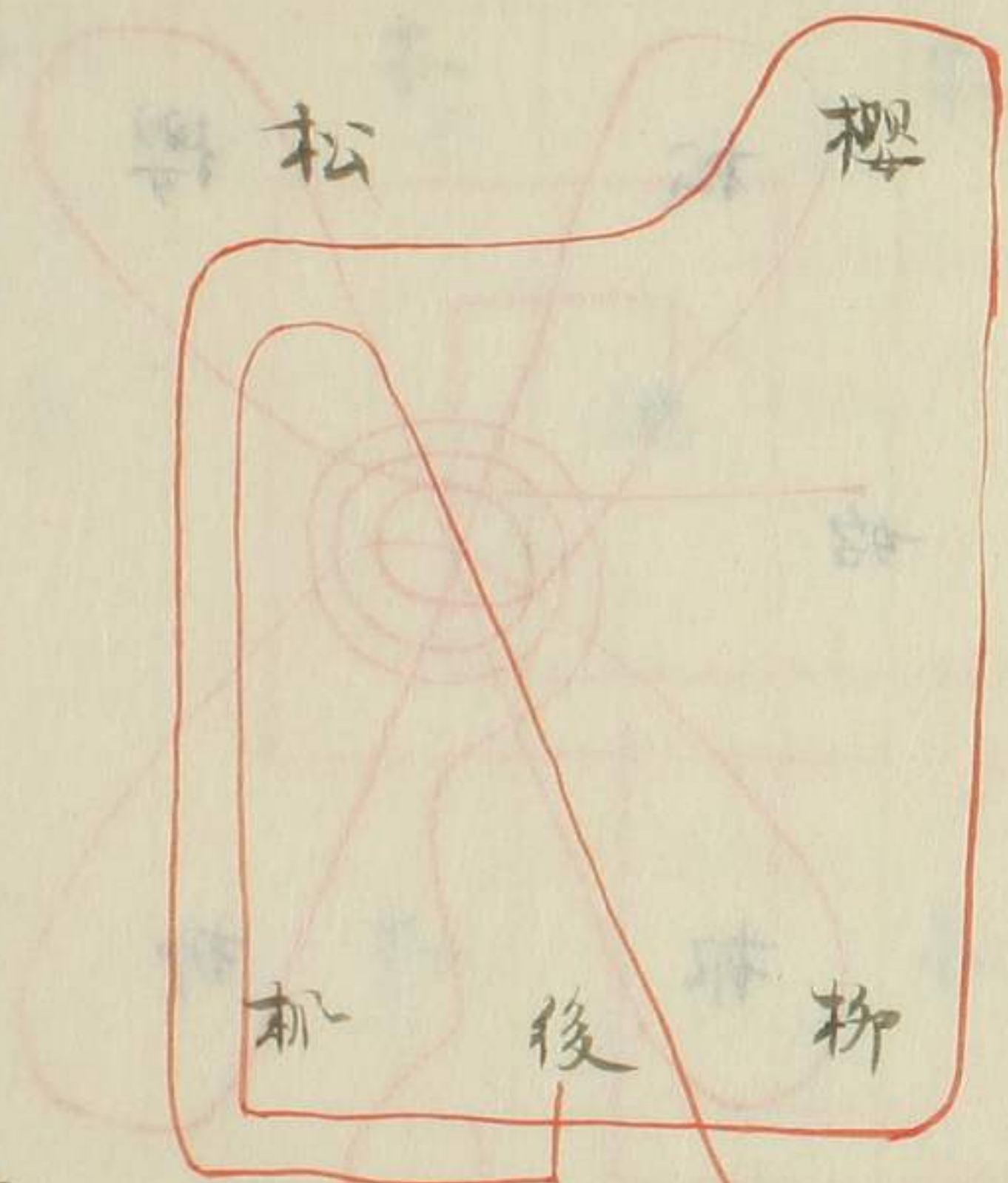


吾庭陽ヨリ陰ニ
返スナリ

春之庭

軒
 春之庭
 夏之庭
 吾庭陽ヨリ陰ニ
 返スナリ

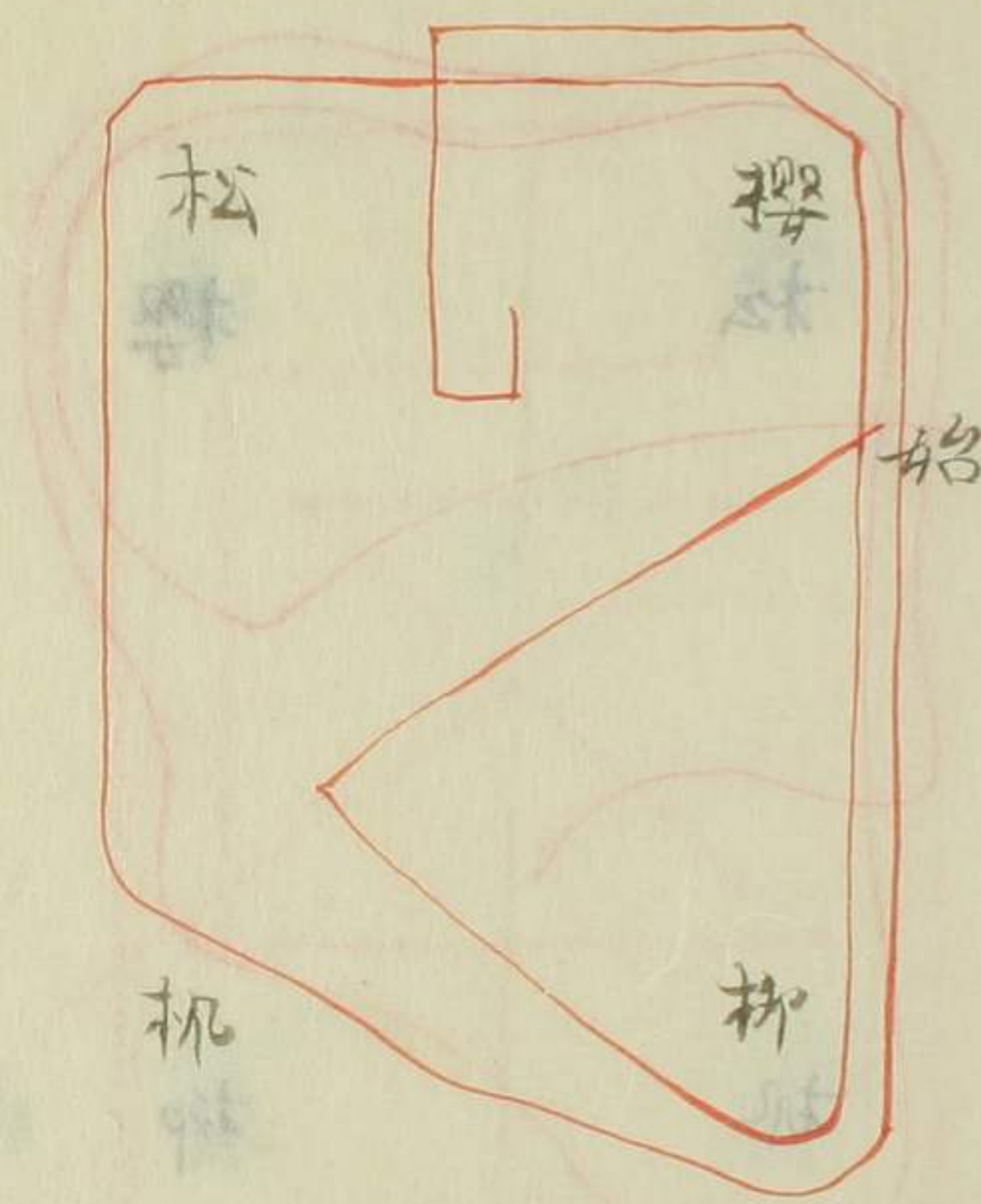
軒



冬之庭
 冬ノ庭ニ
 松ノ木
 櫻ノ木
 柳ノ木
 柏ノ木
 軒
 始

冬ノ庭ニ
 松ノ木
 櫻ノ木
 柳ノ木
 柏ノ木
 軒
 始

軒

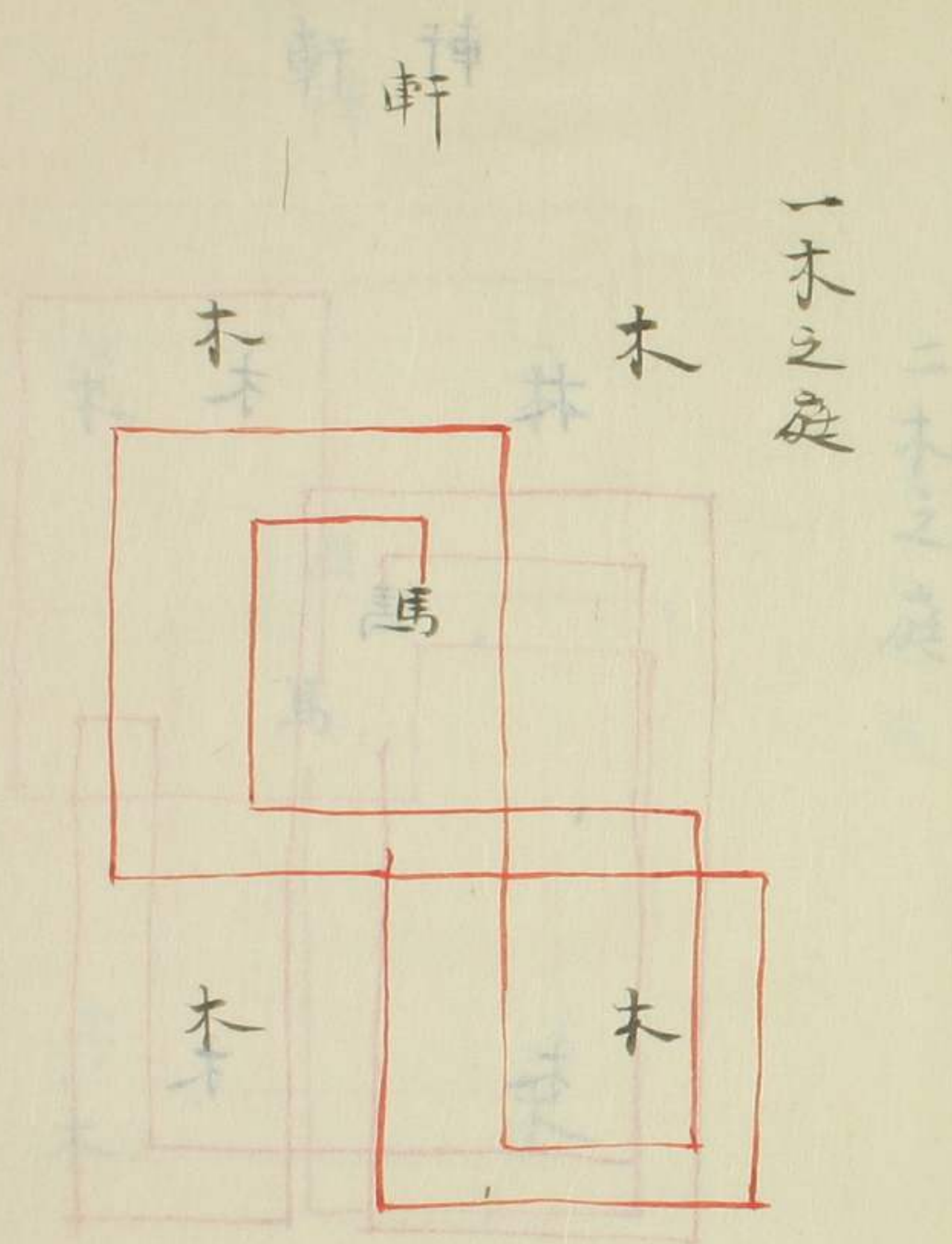


秋之庭

秋之庭

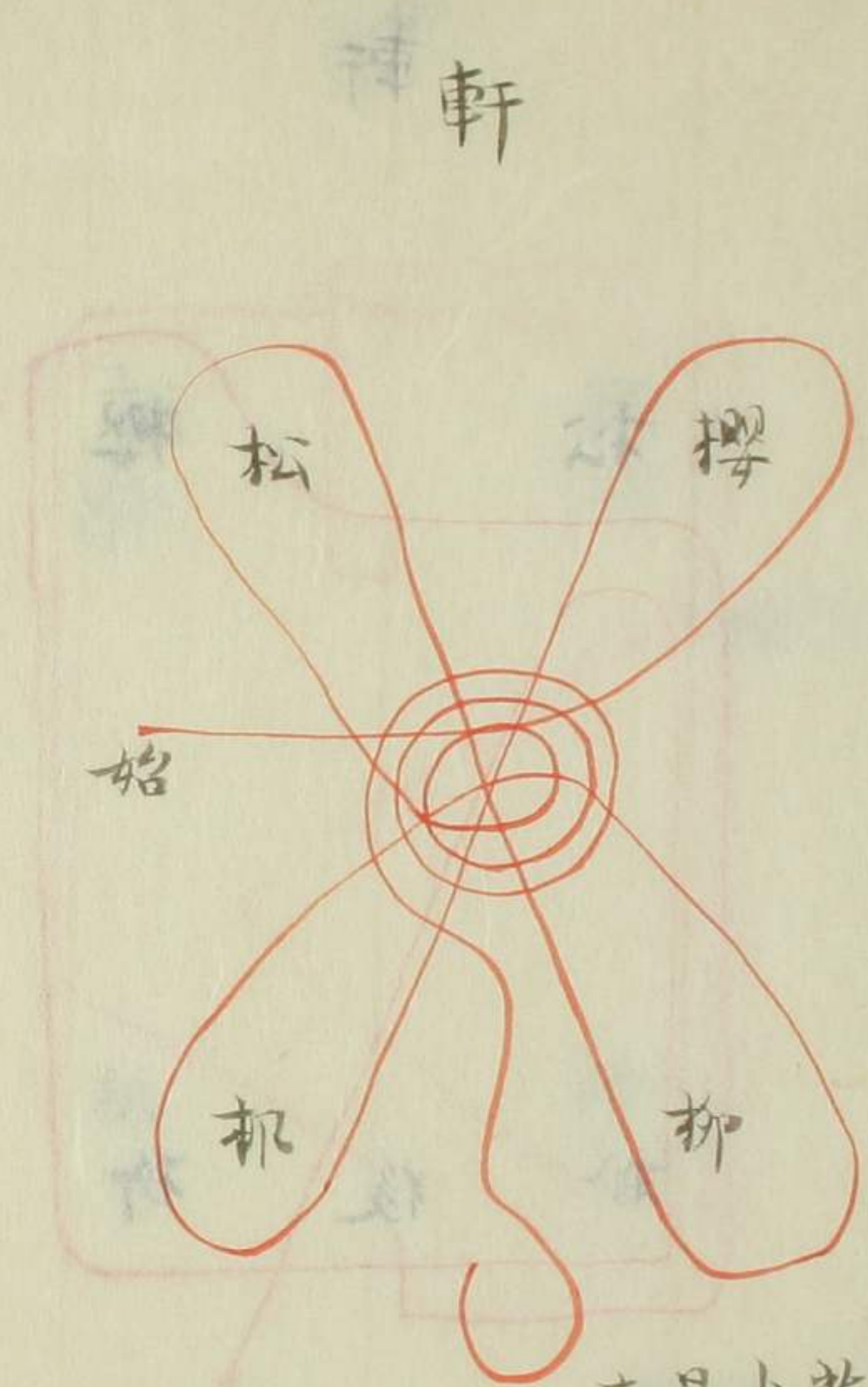
秋ノ庭ニ
 松ノ木
 櫻ノ木
 柳ノ木
 楓ノ木
 軒
 始

一木之庭陰陽ノ庭ナリ



替庭ニ乗テモヨシ三木ノ庭ニテテテテ替テ乗ニ

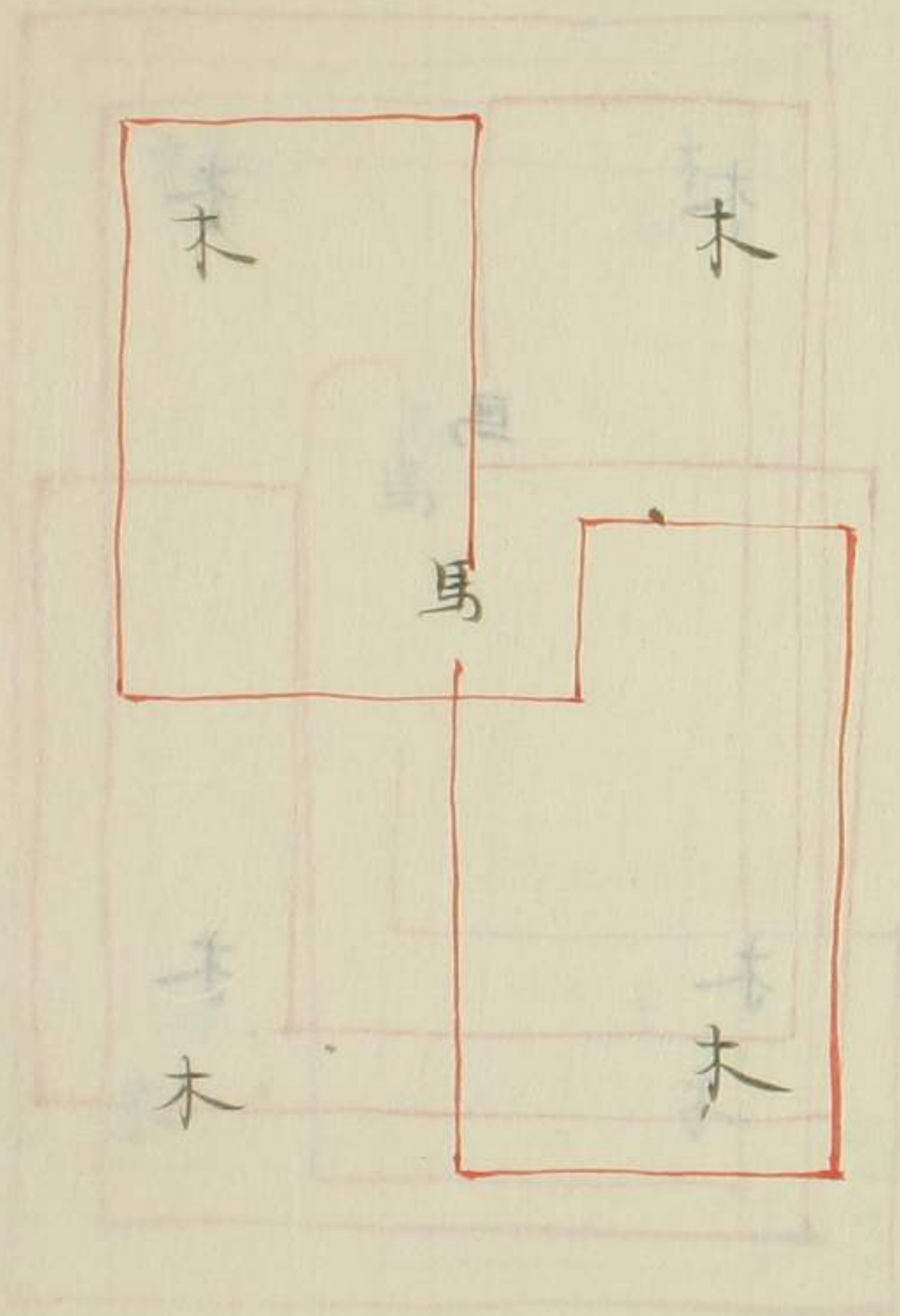
後ノ乗振ヨ四季ノ替庭也重テ取望ノ時ハ後ノ四季ヲ乗ル也



秋取五行土ノ取ニ乗ルトナリ重テ所望ノ時足モ乗トナリ四季ハ土用ニカニルユナリ

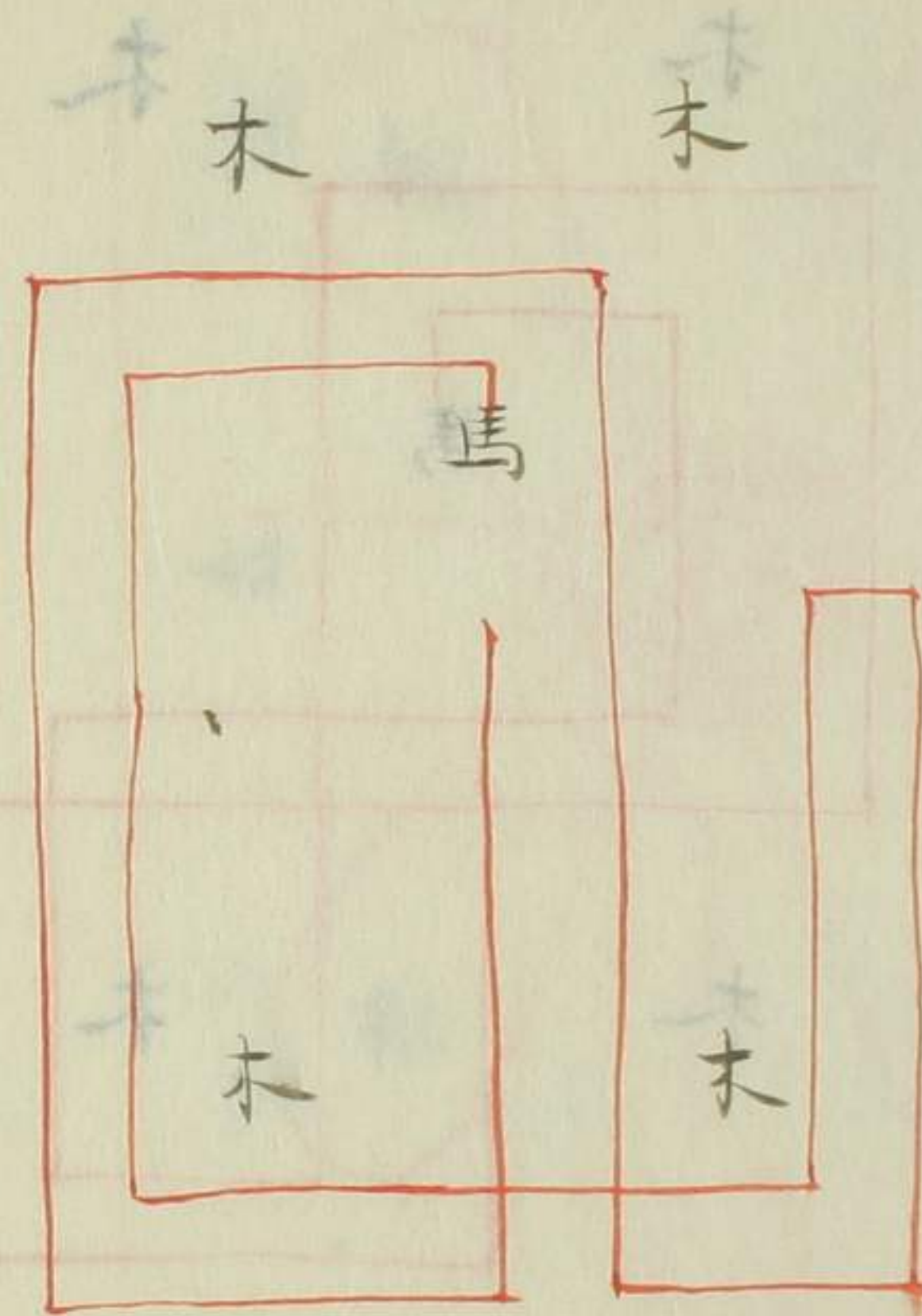
四季サカレノ替庭ナリ

軒



二木之庭庭

軒

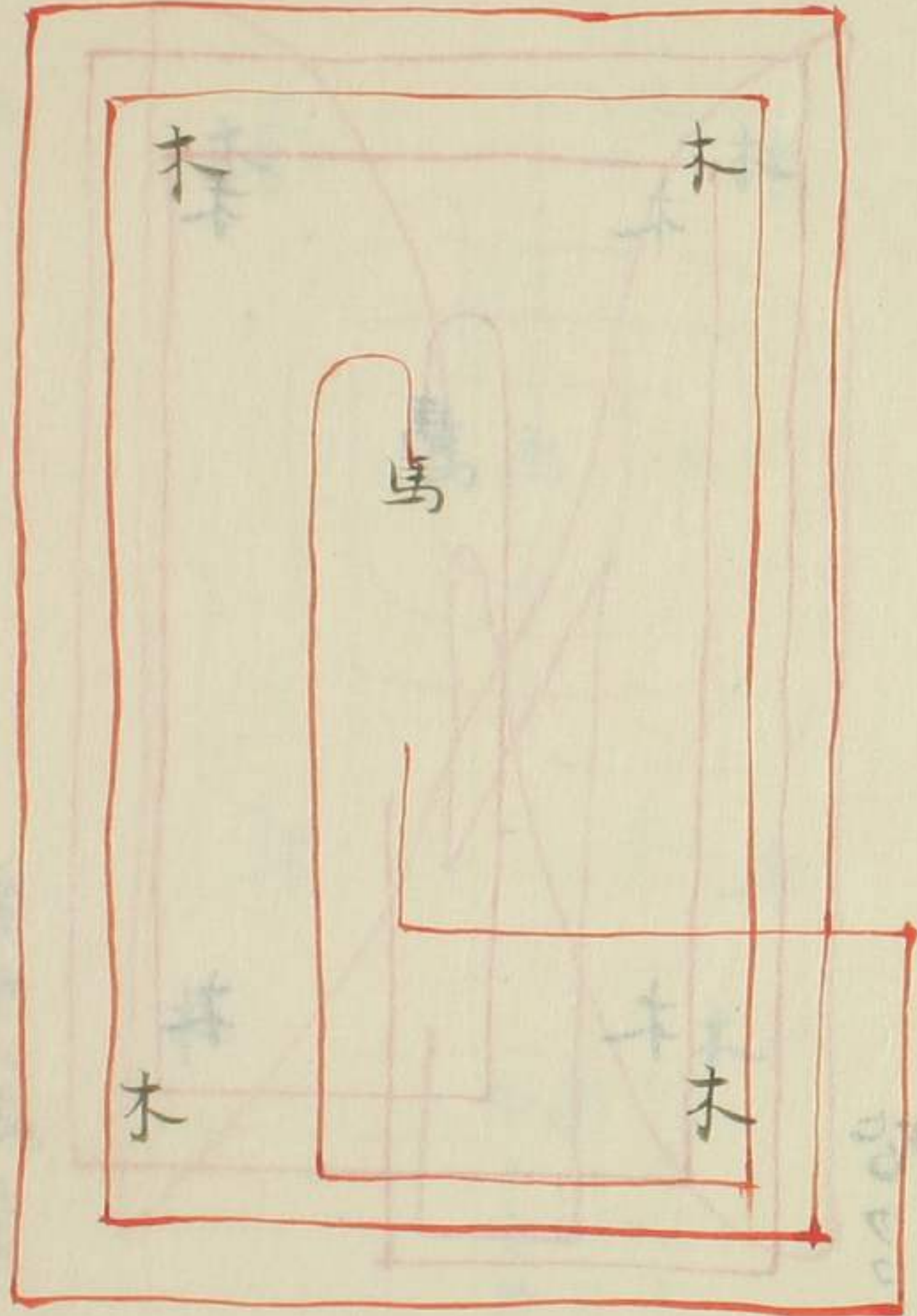


同一木之庭

重テ取望ナレハ四ホ子凡ニ
是ヲ乘也

カミ アキネ
ヨケ アリ
ヨシ ヲム

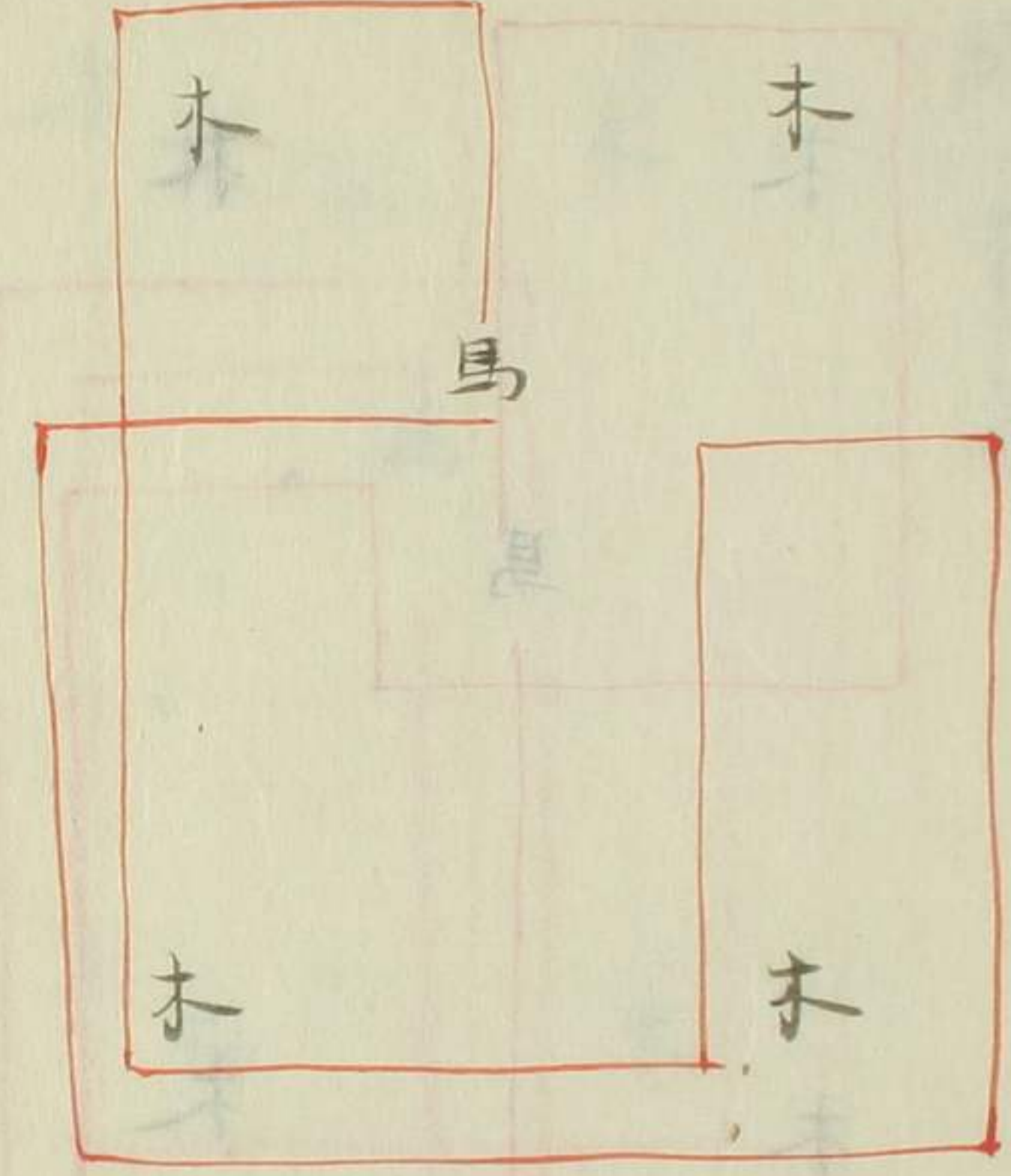
軒



三木立之庭

カミ
ヨケルナリ
三松云

軒



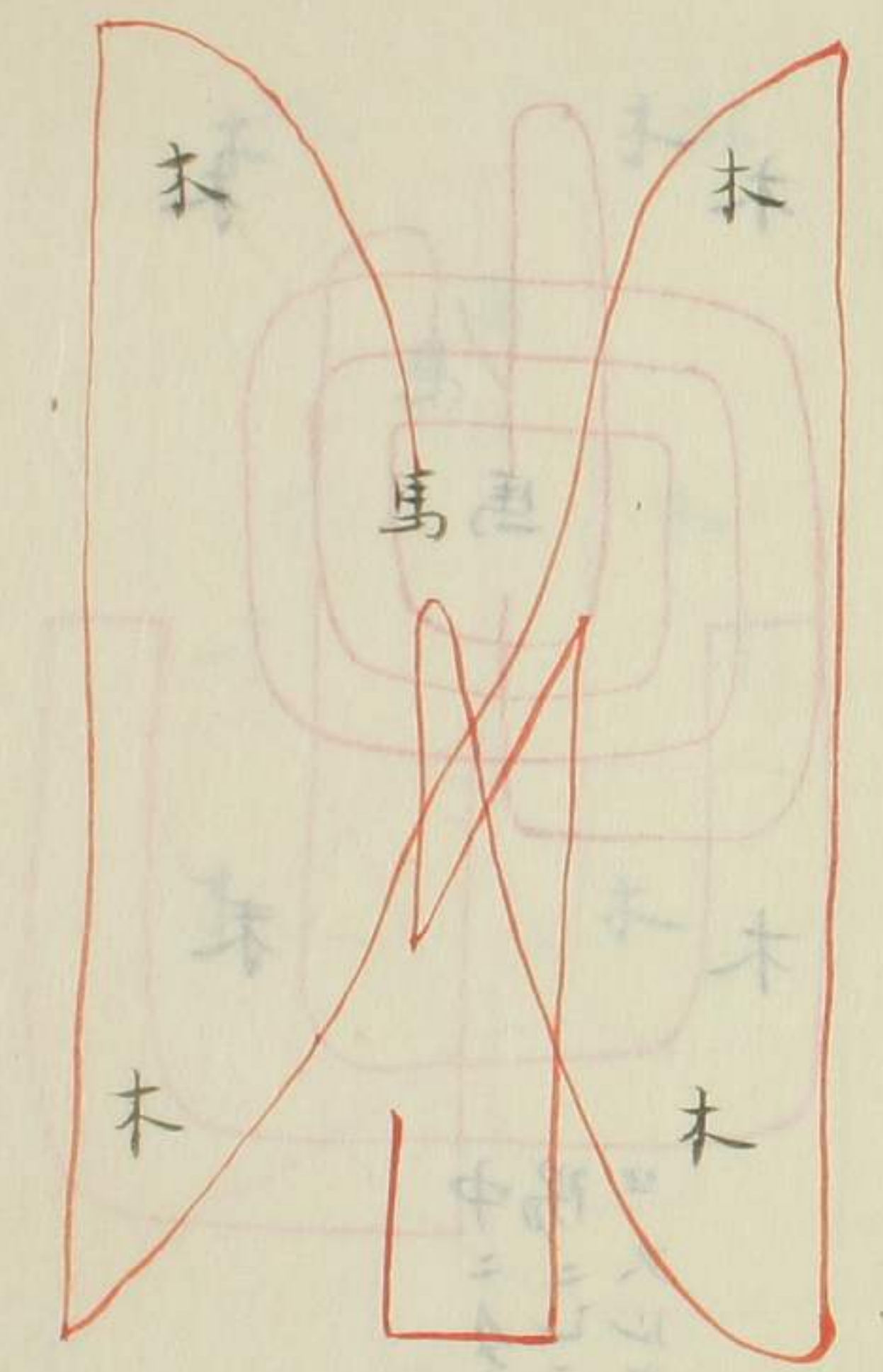
同二木之庭

層庭ナリ

二木立之庭

右者皆柳ノ植リタル庭ニテ棄ヘシ皆櫻杏柳ノ庭ヲ棄
モ吉 松シノケテ外ノ一色ノ木植リタル時如以棄ナリ

軒



同四木立之庭 柳

鷹取

軒



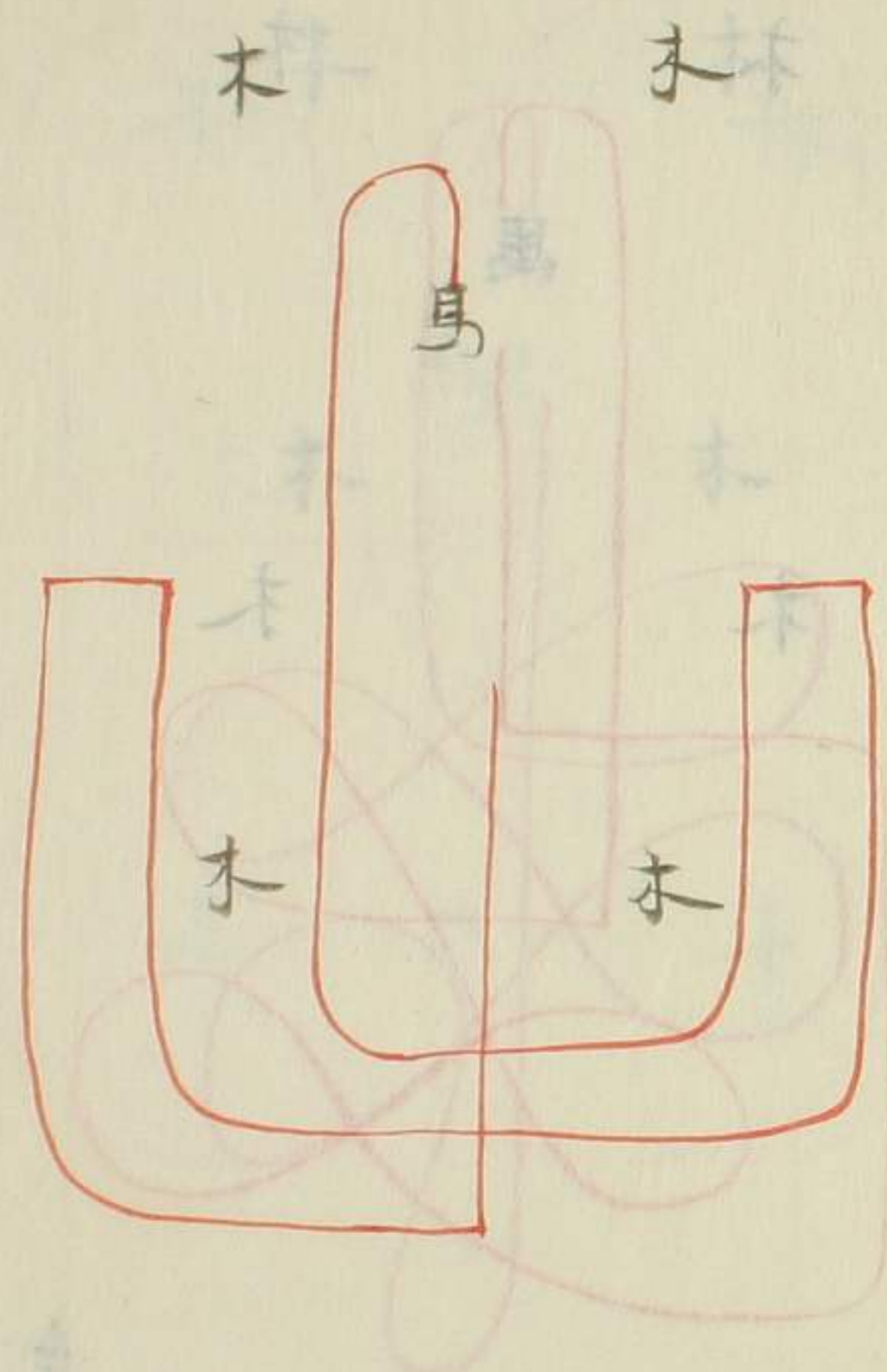
四木立皆松

四木立ハ松計ノ庭ナリ
鷹取ノ庭也

三木立之庭

皆ワコシテヨケル也

軒



同四過木之庭

山取ノ庭也又山コタテノ庭也

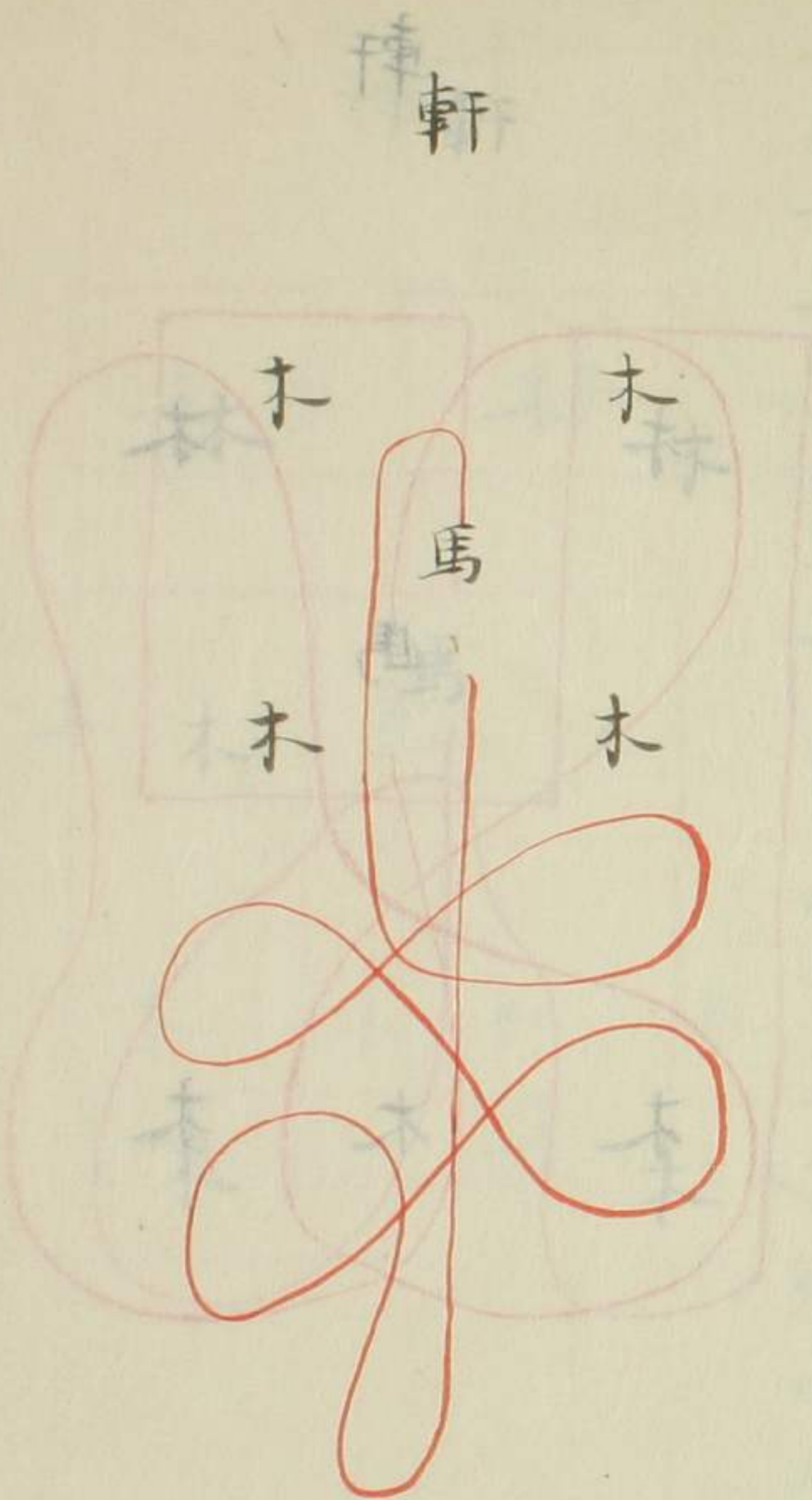
軒



四過木之庭

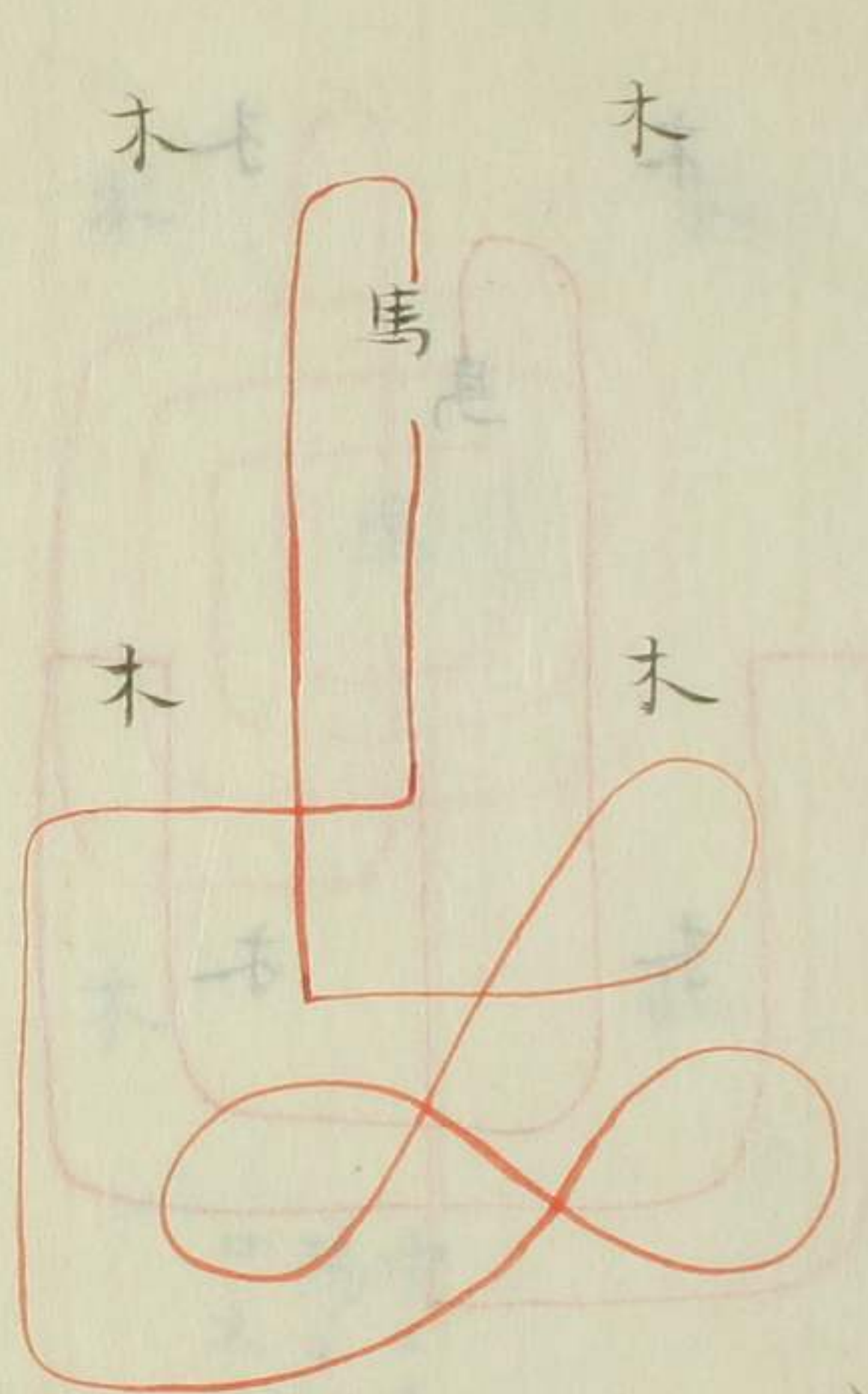
中ニタラシク乗ホツ
陽ニシテ此カタシク
ロスルアリ

四邊木之庭車子ヲ可遊ナラハ後ノ替庭ヲ乘ヘシ



正木之庭
同四邊木替庭
水辺ノ庭也

軒

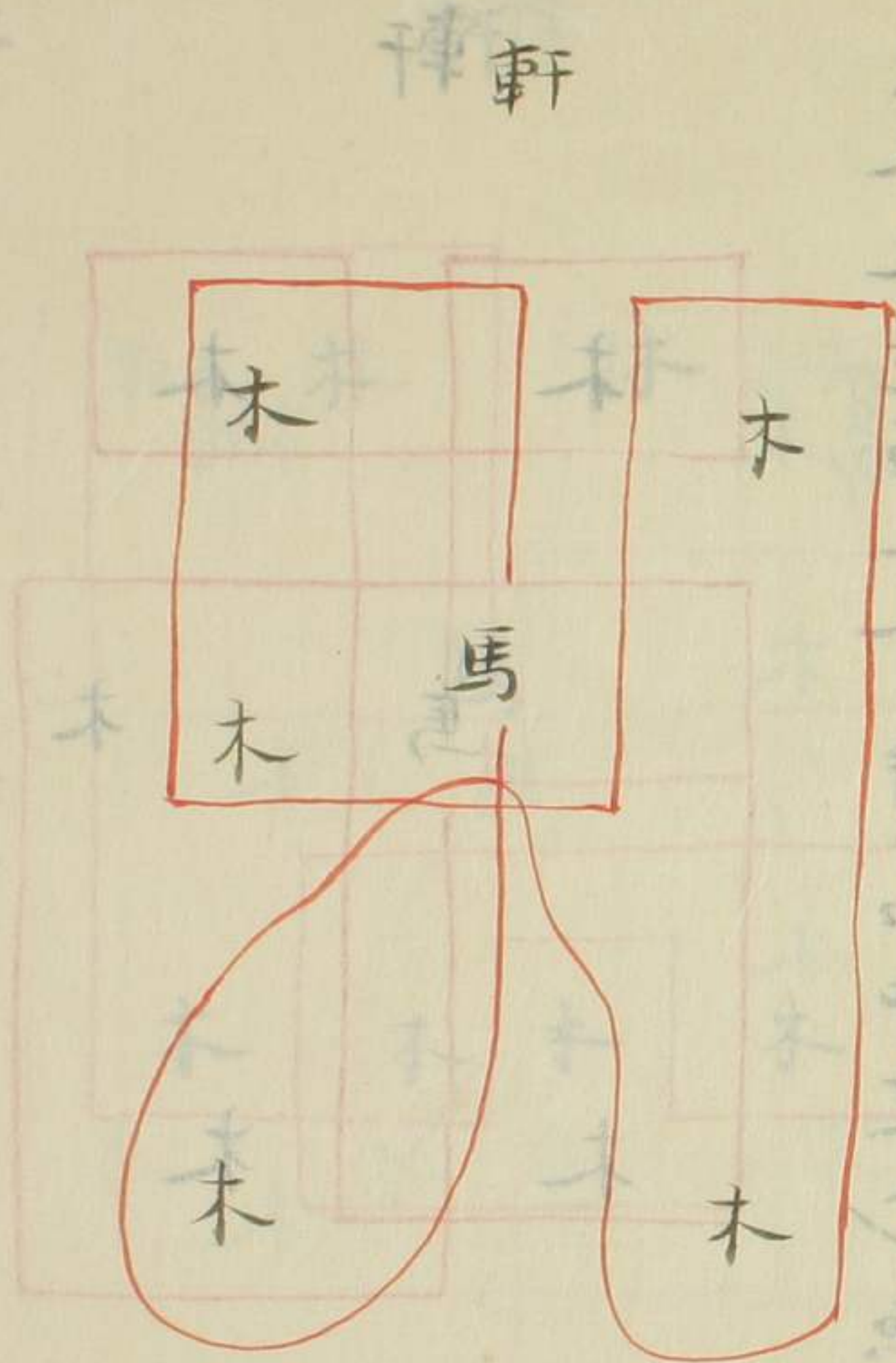


四邊木替庭

山水ノ庭也

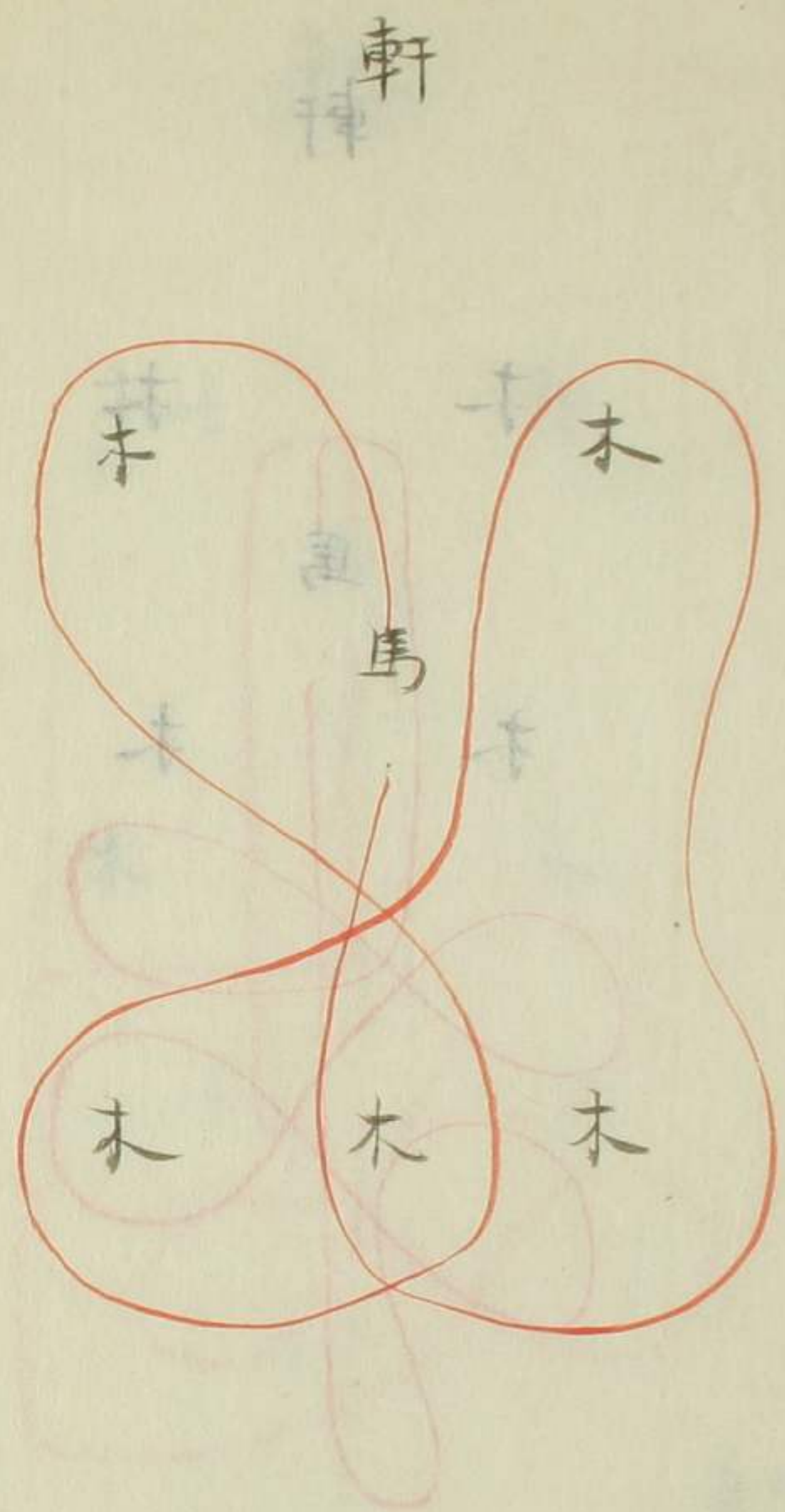
山ノツキニ水ヲ
乘ナリ

同五木之庭左三本ノ時ハ如此乗ヘシ
元五土ヲ生スル心ナリ



軒
同五木之庭
正木之庭ハ三本ノ時ハ如此乗ヘシ

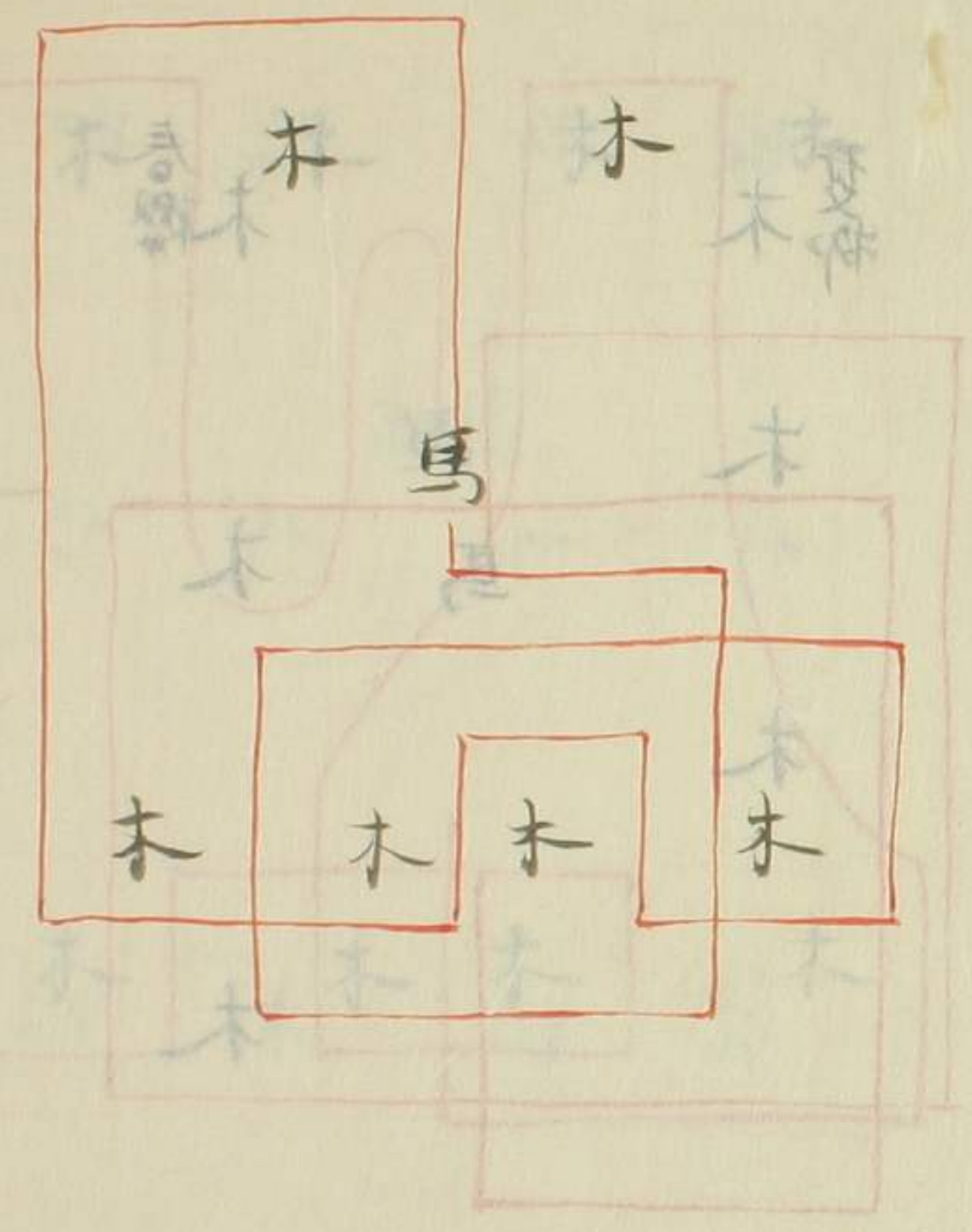
五木之庭軒向フ三本ノ時ハ如此乗ヘシ
向フニヨケミクキ木ノ
有トキハ用テ乗ナリ



五木之庭

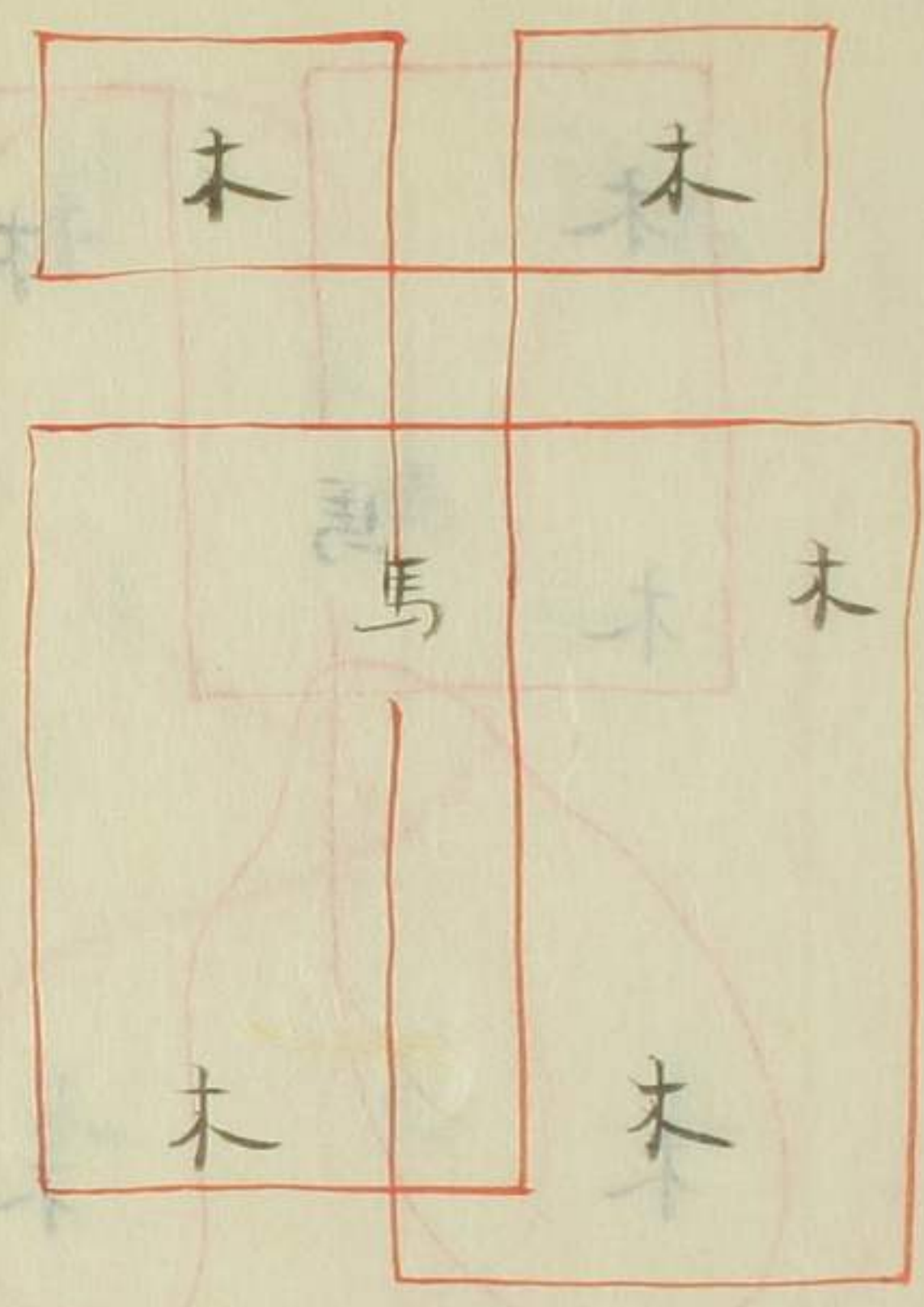
木六本植リタルシハ六本掛ト云乗ヤウ繪圖ノ如シ

軒種



六本之庭

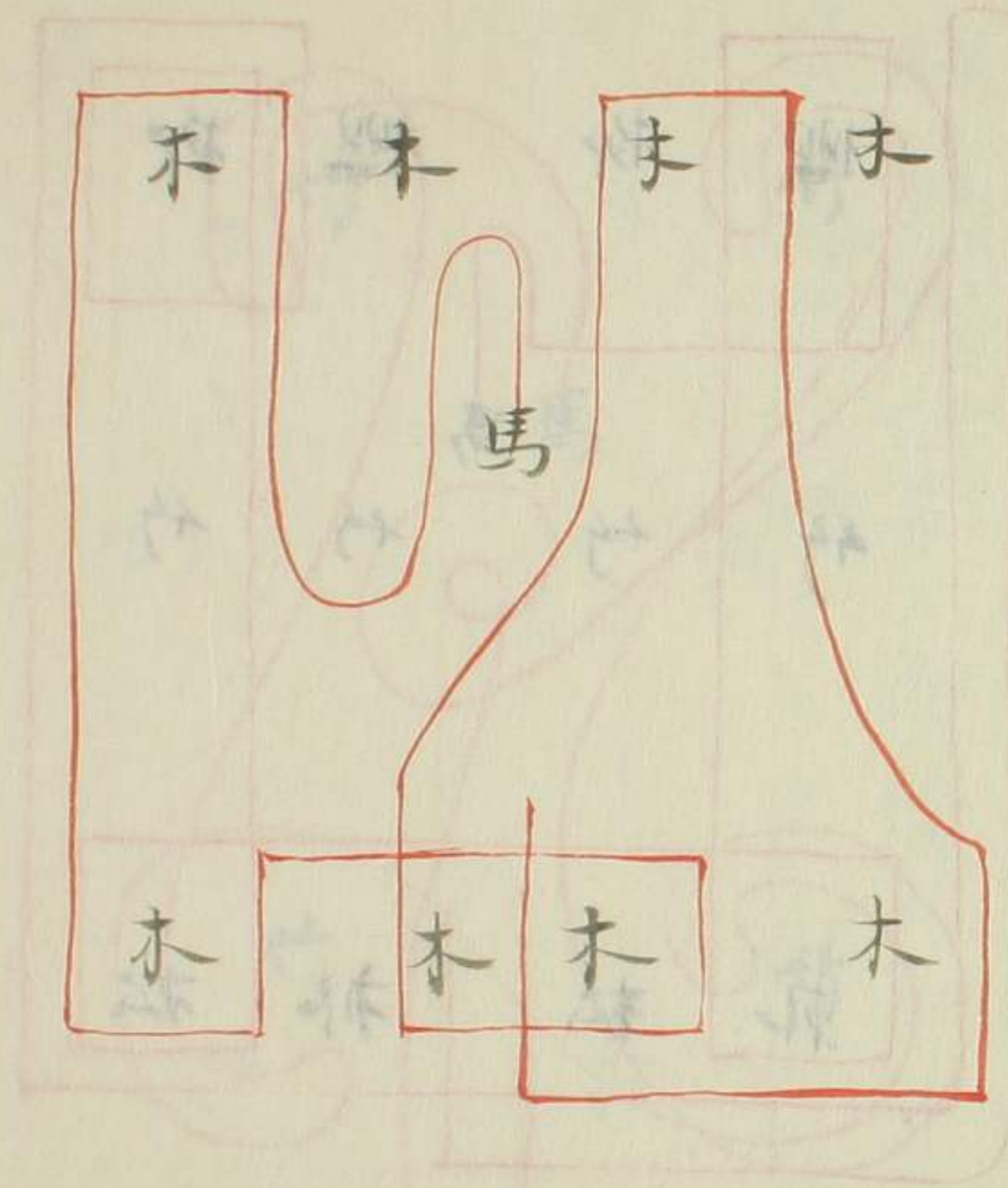
軒種



同五本之庭

五本之庭右三本ノ時ハ如此乗ヘシ惣而似ホヲ掛リ庭
 少拉タル庭ニ行ハ其木シモ加ヘテ乗ヘシ是ヲ以テ五本
 掛ト云

老若之掛トテ掛リ
 同庭ニ双ヒテ有
 時ハ繪圖ノ如ク
 乗ヘシ
 八木掛トモ云ナリ
 八敷ハ物ノ始メ
 祀儀ニ乗ナリ
 八敷ニミツタリ
 成リテ
 又ハミラワル
 故ニ老若ト云

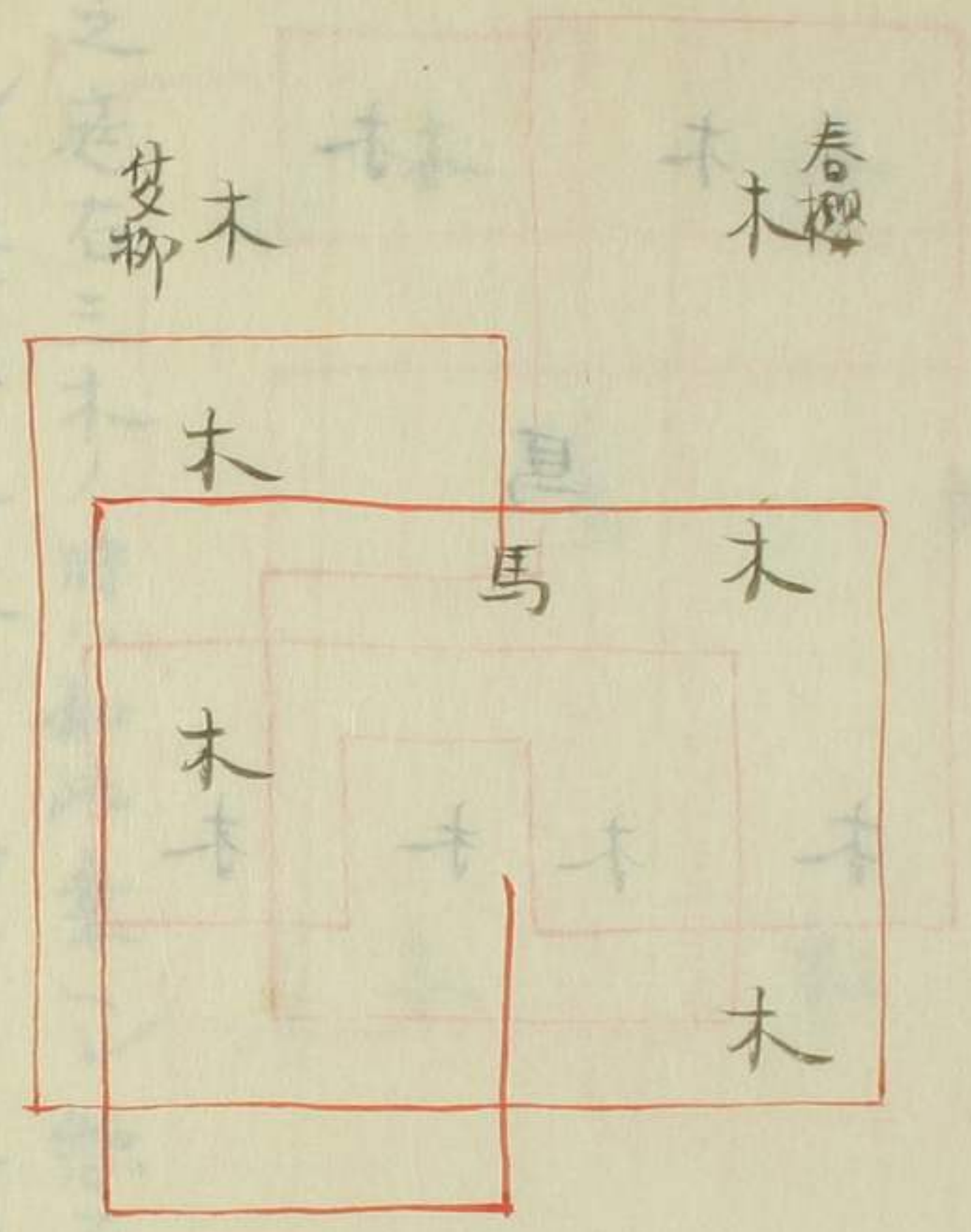


八木之庭

十二木掛リハ羊ノ
 六羊ノ善ニ乗
 一ニ木ハ
 三ノ成リテ

軒

五木之庭
 夕拉
 掛ト云
 二ツ陽ヲハ
 ツスモ

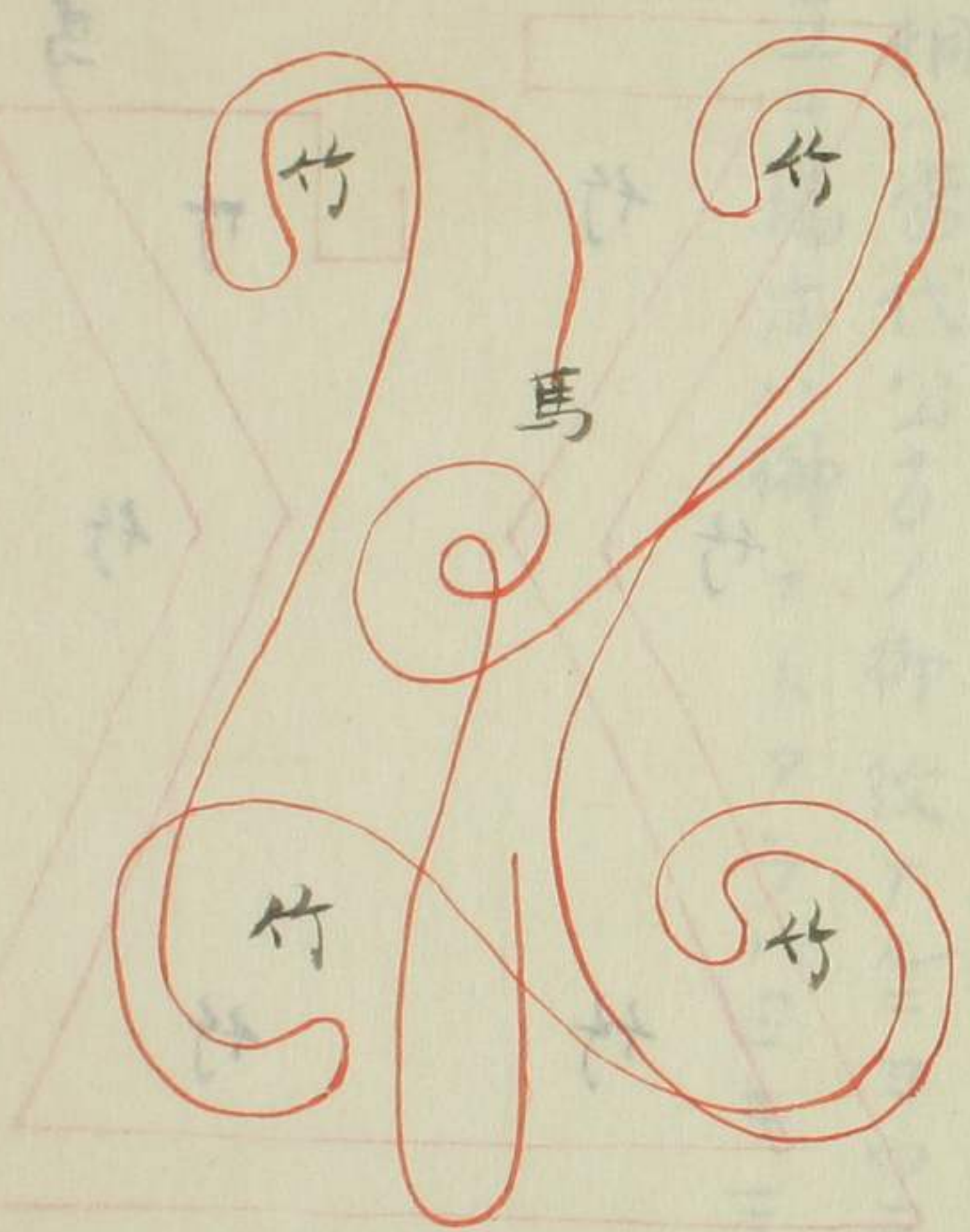


七木之庭

六木掛リ
 三羊ノ善ニ乗
 一ニ木ハ
 三ノ成リテ

軒

竹之庭繪回ノ如ク乗ヘシ然トモ短冊ナト付タラシ時ハ
四季ノ庭ノ心得可ナリ



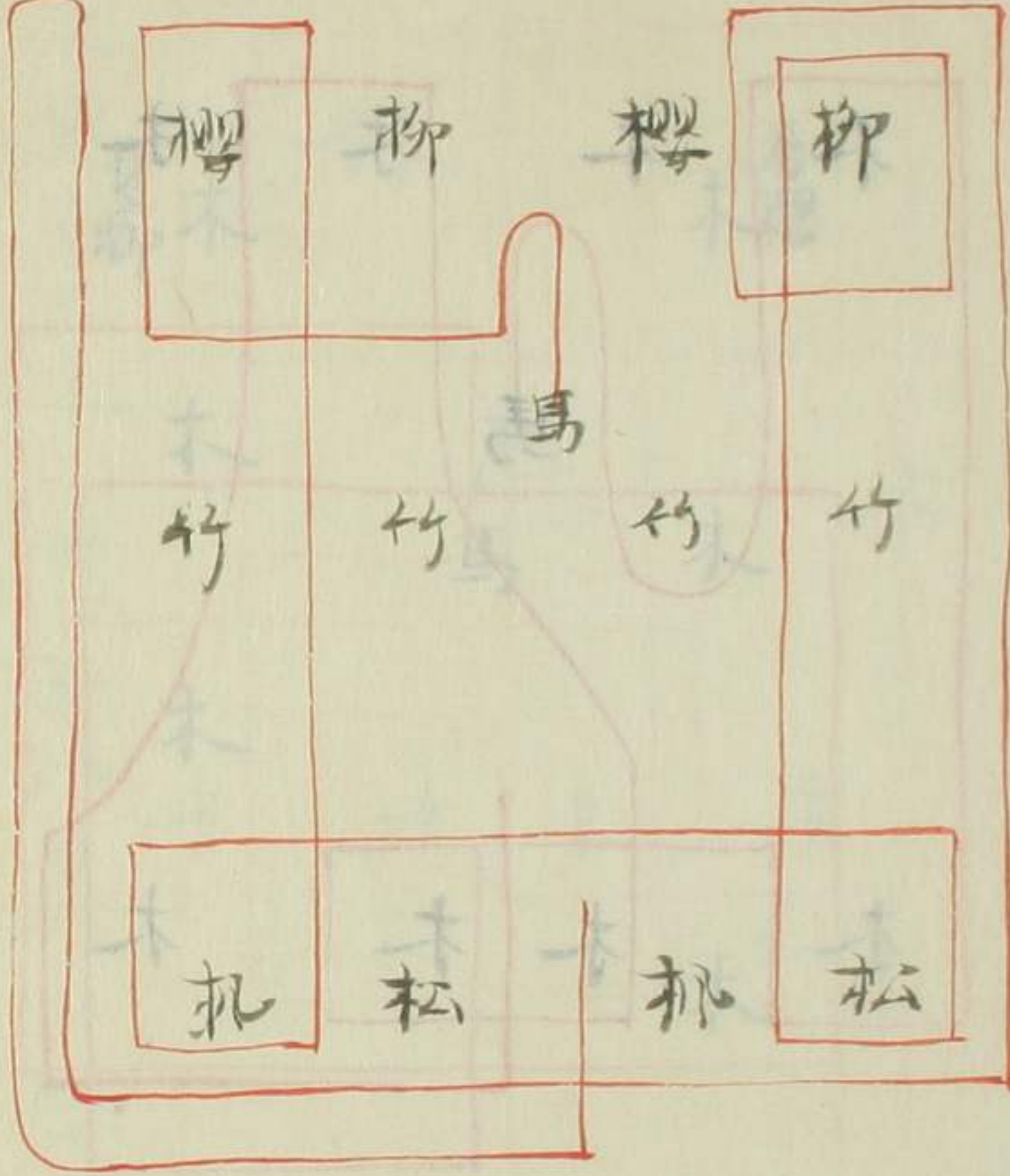
竹之庭

陰ノ庭ナリ竹ヲ指根堅メニシテモ乗也

短冊付タル竹ヲヨケニ乗ナリ如以陽ニ
乗内ヨリ外ニ乗ルヲ陽ニ乗ヤ云ナリモ月ト
有之リ

軒

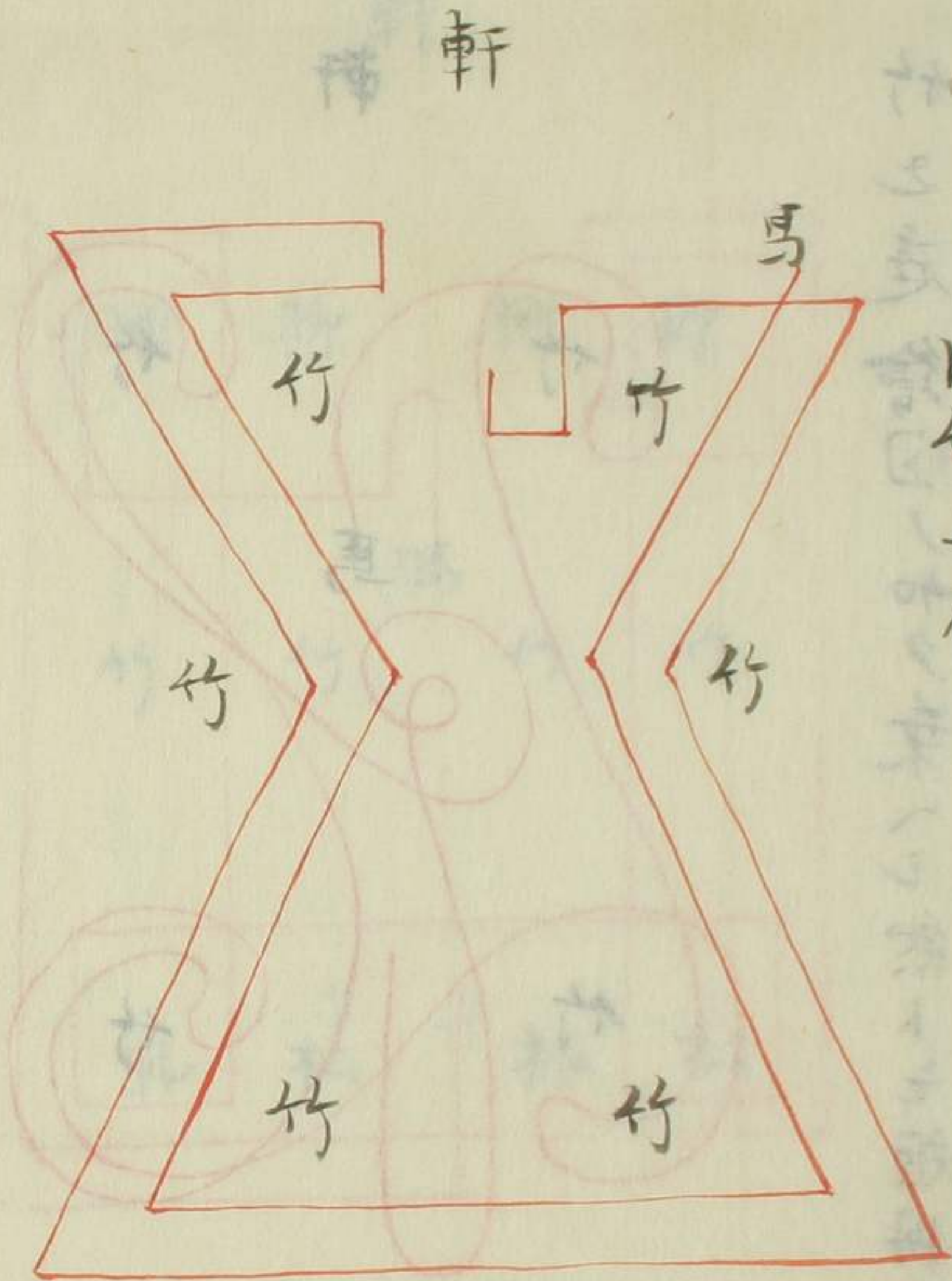
十二本掛リ八年ノ始年ノ暮ニ乗シ



十本ニ木之庭

十二本ハ櫻ニ枳ヲ添亦
外ノ本モ添テアリ

同竹之庭



六ツ竹ノ庭猶ノ如シ是モ短冊ツキタラハ其竹ヲ外シテ
 乗ヘシ陰庭也竹ヲ指根堅メシレテ乗也
外ヨリ内ニ乗生ニ
 陰ノ乗指ト云

庭乗ハ所望ヨリテ種々ノ形ヲ乗ナリ或ハ草木ノ
 花葉ヲモ乗テアルナリ然共菊桐ハ天子ノ御紋
 殊ニ相ハ當代公方ノ御紋ナルニヨツテ乗スト知ルヘシ
 四本立ニ播亦ハ榭ナトアラハヨキテ乗ヘシ

